

令和2年度  
静岡県立大学キャリア・就職支援等に  
関する卒業生調査

静岡県立大学キャリア支援センター  
2021年3月



# 目次

1	調査概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査対象	1
	(3) 調査時期	1
	(4) 調査方法	1
	(5) 回収状況	1
	(6) 報告書内のデータ記述について	1
2	調査概括	3
1	本学卒業生のライフコース	3
	大学卒業直後の進路状況	3
	初職の満足度	4
	離職率	4
	3年以内離職率	5
	転職での収入の変化と満足度	5
	大学卒業後の進路イメージ	6
2	Uターン率	7
	大学卒業後の勤務地Uターンイメージ	7
3	本学卒業生の現在の就労状況	8
	現職の雇用形態	8
	現職の通勤・通学時間と労働時間	8
	現職の重要度・満足度	9
	本学卒業生の働き方のイメージ	9
3	調査結果	11
1	あなたご自身について	11
	性別	11
	現在の居住地	11
	現在の通勤・通学時間	11
	大学卒業直前と現在の実家居住状況	12
	職業や生活を通して重要なこと	13
2	本学での学習・生活について	14
	本学を卒業した時期	14
	卒業した学部・学府・研究科	14
	講義やゼミの参加、大学主催の就職支援講座等の参加の程度	15
	実社会で役に立っている科目	15
	大学時代にやっておけばよかったと感じている科目	18
	キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点	20
3	就職活動と本学卒業後の最初の勤務先について	23

就職活動支援の評価（５段階評価）	23
就職活動支援の評価（３段階評価）	23
就職活動支援の評価（５段階評価）学部・学府・研究科別クロス集計	24
1 現実の問題・課題に関連した授業	24
2 授業以外で教員と接触する機会	24
3 就職指導の体制	25
4 企業実習（インターンシップ）の機会	25
5 学業等への経済的支援の提供	26
就職活動（公務員試験等を含む）の有無	27
就職活動の内容	27
就職活動をしなかった理由	27
卒業直後の状況	28
卒業後の就職有無（非正規も含む）	28
卒業後最初の勤務先の雇用形態	28
卒業後最初の勤務先の所在地	29
卒業後最初の勤務先の就労状況	30
卒業後最初の勤務先の就労期間	30
卒業後最初の勤務先の満足度	30
4 現在の職場の状況について	31
現在の状況	31
現在の勤務先	31
勤務先の業種	32
現在の勤務先の所在地	33
現在の勤務先の従業員規模	34
現在の１週間の平均労働時間	34
現在の収入	35
働き方の重要度・満足度	36
5 大学卒業後の働き方の変化について	37
卒業後の転職・退職有無（非正規も含む）	37
転職・退職しようとした際の相談相手	37
転職・退職した理由	38
卒業後二番目の勤務先の雇用形態	39
卒業後二番目の勤務先の就労状況	39
卒業後二番目の勤務先の就労期間	39
卒業後二番目の勤務先に転職しての収入の変化	40
卒業後二番目の勤務先の満足度	40
卒業後からこれまでに勤務した企業数（公務員、自営を含む）	40
6 卒業後の本学とのつながりについて	41
卒業後の本学への訪問有無	41
本学への訪問目的	41
卒業後に本学の教員との連絡有無	42

本学の教員との連絡手段	42
本学の情報の入手方法	42
7 本学在学学生に向けて、卒業生として伝えたいことについて	43
OB・OG懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力の可否	43
働くということについて気づいたこと	43
そのほかにも、後輩に伝えたいと思っていること	44
8 新型コロナウイルスの影響について	45
新型コロナウイルスの影響による収入の変化	45
新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化	46
新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無	47
新型コロナウイルスの影響による転職・退職した、または検討している具体的な理由	48
新型コロナウイルスの影響による職場の環境や処遇の変化	48
4 付録	49
1 概括集計結果	49
2 調査結果集計結果（単純集計）	55
3 調査結果集計結果（クロス集計）	76
4 調査票	93



## I 調査概要





# I 調査概要

## (1) 調査の目的

本学では、平成19年4月の法人化と時期を同じくして、キャリア支援センターを新たに設置し、本学学生のキャリア・就職支援の一層の充実を図ることとなった。

キャリア支援センターでは、卒業生を対象とした調査を平成20年度より3年ごとに実施することとしており、第5回目として令和2年度に実施した。この調査は、卒業生の現状を把握するとともに、キャリア支援センターの提供した支援をはじめ、本学が提供した教育及び各種支援についての卒業生による評価を求めることによって、今後の効果的な教育・支援策を検討し、実施していくための基礎資料を得ることを目的として実施するものである。

## (2) 調査対象

平成29年度～平成31年度に本学学部及び大学院修士課程、博士前期課程を卒業した1,823名

## (3) 調査時期

令和2年12月23日～令和3年1月19日

## (4) 調査方法

郵送による質問紙調査。平成26年度調査、平成29年度調査同様、卒業生の現住所把握が困難であるため、実家等（日本国内の保護者等の住所）に返信用の封筒を同封した質問紙を郵送し、回答後に本学キャリア支援センター宛に返送を求めた。

## (5) 回収状況

1,823票を発送した。回収票は570票で、発送票に対する回収率は31.3%である。母集団に対して、許容誤差5%、信頼水準95%となるサンプル数は318で、多くの設問は信頼を期待できるものとなっている。

## (6) 報告書内のデータ記述について

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示している。
- ・百分率は小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- ・1つの質問に2つ以上答えられる“複数回答可能”の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・設問文や選択肢が長い場合、グラフやコメントにおいて省略した表記をしていることがある。
- ・サンプル数が20未満のものについては、コメントを割愛する。
- ・経年比較に使用したデータの出典は

平成26年度調査：静岡県立大学のキャリア・就職支援を中心とした学生支援に関する卒業生調査報告書（2015年3月）

平成29年度調査：静岡県立大学のキャリア・就職支援を中心とした学生支援に関する卒業生調査報告書（2018年3月）



## 2 調查概括



## 2 調査概括

### 1 本学卒業生のライフコース

#### 大学卒業直後の進路状況

大学卒業直後の進路状況を本学と全国で比較すると、『正規雇用者』は、本学では9割程度で推移しているが、全国では6割半ばから7割半ばへと増加している。『非正規雇用者』は、全国では減少傾向にあるが、本学では『非正規雇用者』という回答が少ないため、大きな変化はない。

図 卒業直後（大学・大学院卒）の状況（本学）

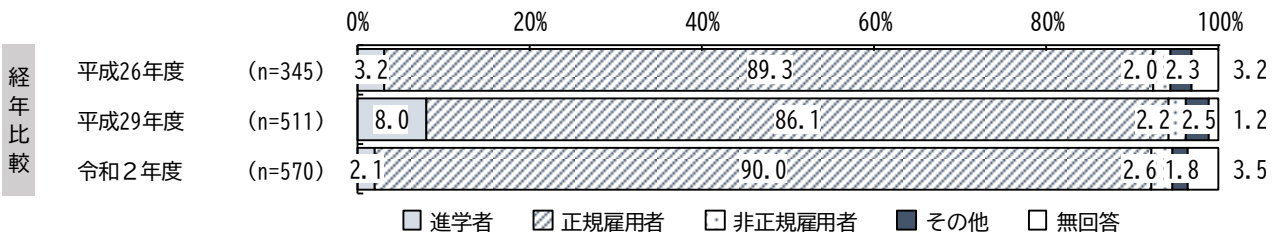
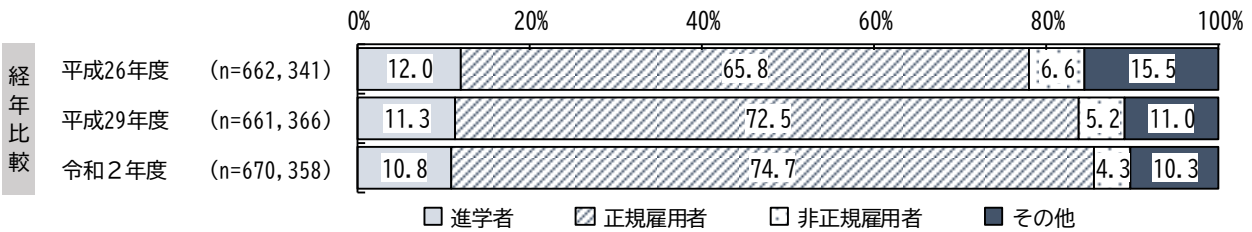


図 卒業直後（大学・大学院卒）の状況（全国）



『進学者』と『正規雇用者』の推移について、それぞれ以下に図示する。全国の『進学者』は平成26年度から令和2年度の間、1.2ポイント、本学では、1.1ポイント少なくなっている。全国では同じ期間に『正規雇用者』が8.9ポイント、本学では1.1ポイント多くなっている。

図 卒業直後『進学者』の推移

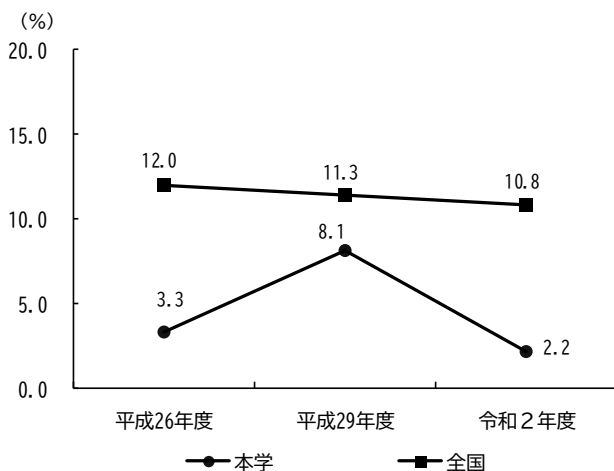
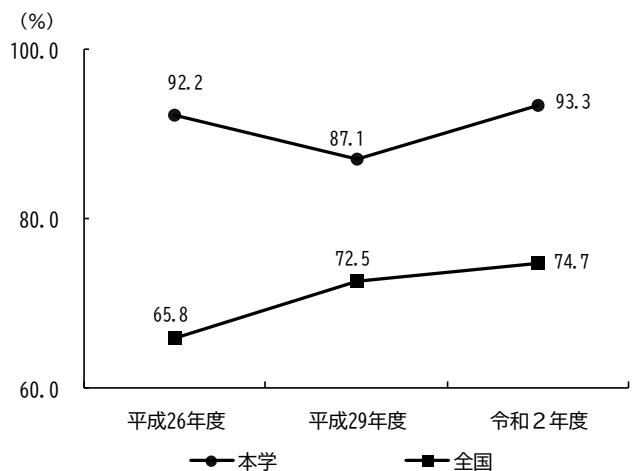


図 卒業直後『正規雇用者』の推移



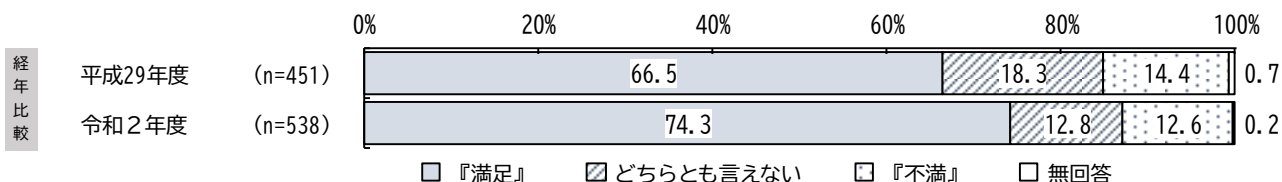
本学：『進学者』は「大学院生・大学生・留学生・専門学校生」、『非正規雇用者』は「非正規雇用の従業員」の項目名を改めたもの。『正規雇用者』は「正規雇用の従業員」、「起業」、「家業に従事」を、『その他』はそれら以外の項目（「無回答」除く）をそれぞれ合算したものの。

全国：文部科学省「学校基本調査」（平成26年度、平成29年度、令和2年度）より作成。平成26年度、平成29年度は『進学者』は「進学者」、「専修学校・外国の学校等入学者」を、『非正規雇用者』は「正規の職員等でない者」、「一時的な仕事に就いた者」を、『その他』はそれら以外の項目（「無回答」除く）をそれぞれ合算したものの。令和2年度は『進学者』は「進学者」、「専修学校・外国の学校等入学者」を、『正規雇用者』は「自営業主等」、「無期雇用労働者」を、『非正規雇用者』は「有期雇用労働者（雇用契約期間が一月以上の者）」、「臨時労働者」を、『その他』はそれら以外の項目（「無回答」除く）をそれぞれ合算したものの。

## 初職の満足度

本学卒業後最初の勤務先の満足度を5段階評価した際の「満足している」、「やや満足している」を合算した『満足』74.3%、「どちらとも言えない」12.8%、「あまり満足していない」、「満足していない」を合算した『不満』12.6%、の3段階評価としたところ、『満足』が最も多くなっている。

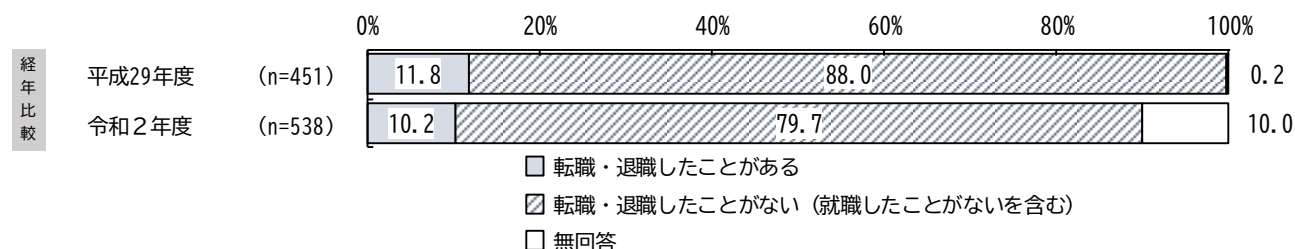
図 初職の満足度（3段階評価）



## 離職率

本学の『就職者』は538人、離職率は10.2%である。離職者のうち、卒業後3年を経過している平成29年度卒業生158人について、転職・退職経験のある者は15.2%である。

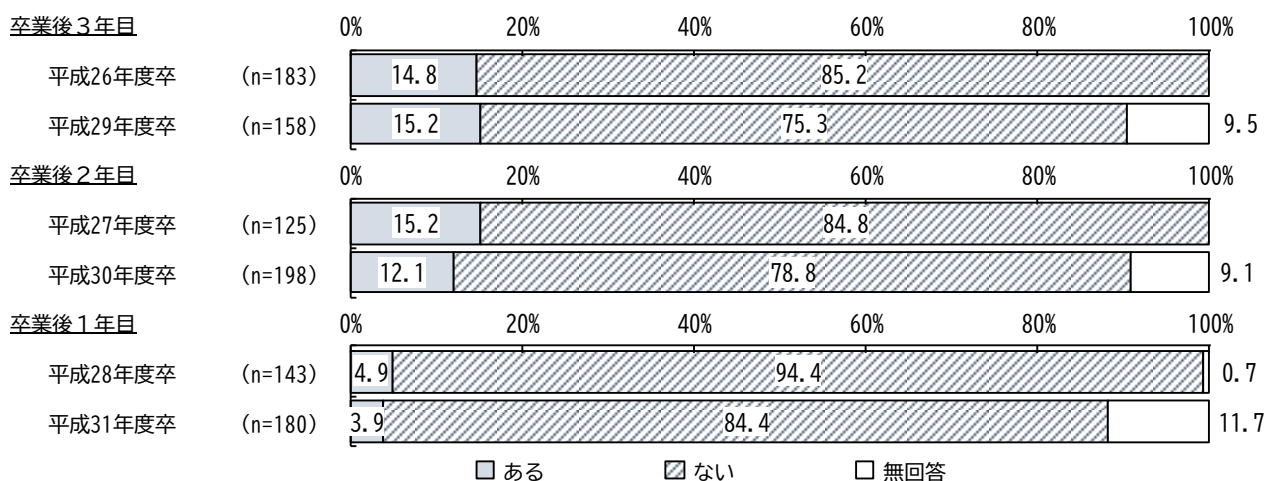
図 就職経験と離職経験



離職率：「就職したことがある」と回答したものを『就職者』、「転職・退職したことがある」と回答したものを『離職者』とし、以下のような計算をする。

$$\text{「離職率」} = \frac{\text{「離職者」}}{\text{「就職者」}} \times 100 (\%)$$

図 3年以内離職率

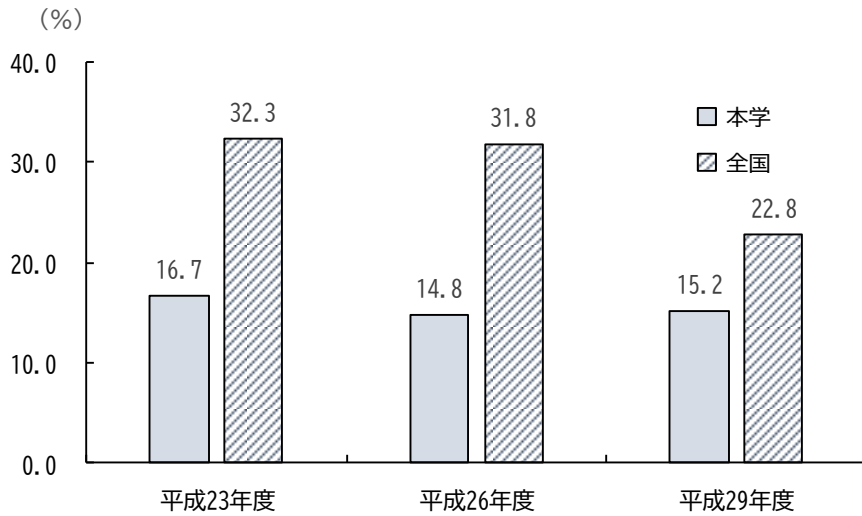


3年以内離職率：各卒業年度で「離職率」を計算したもの。平成29年度卒業生は平成30年度から令和2年度まで、平成30年度卒業生は平成31年度から令和2年度まで、平成31年度卒業生は令和2年度の離職者を基に算出した。

### 3年以内離職率

本学と全国の大卒者の3年以内離職率を比較してみると、本学は全国と比べて3年以内離職率が低い傾向にある。

図 3年目以内離職率の推移



本学：「3年以内離職率」に同じ。

全国：厚生労働省「新規学卒者の離職状況」より作成。ここでは離職状況を、「新規学卒者の離職状況」＝「新規大卒離職者」/「新規大卒就職者」×100（%）と算出している。  
このとき、新規大卒就職者とは、大学卒業3年以内のもので22歳以上、卒業年の3月1日から6月30日までに新規学卒として雇用保険に加入した者を指す。本学データは「3年以内離職率」に同じ。

### 転職での収入の変化と満足度

就職に関して「良い大学に入って、良い会社に就職して、その後、同じ会社の中で出世していく」というモデルが描かれることがある。この点に関連して、本学の離職者の収入をみていくと、『収入が増えた』41.1%、が『収入が減った』33.9%を上回っている。この傾向は全国、全国大卒でも同様である。

また、満足度については、本学、全国、全国大卒どれも、『満足』が最も多くなっている。

図 転職による収入の変化

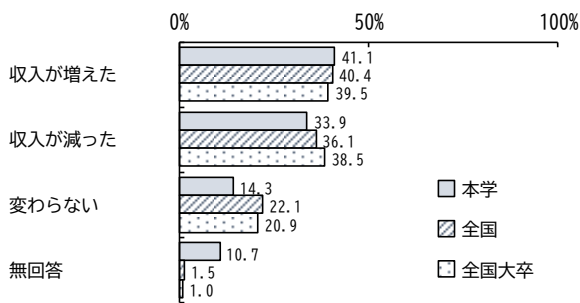
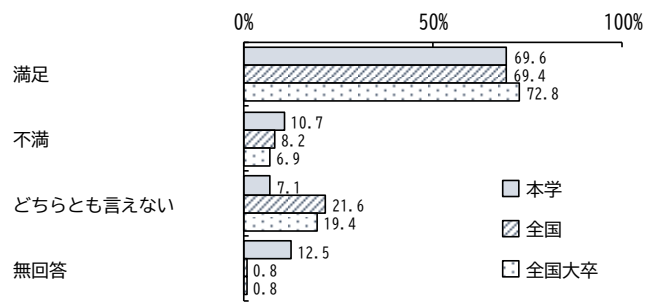


図 転職後の勤務先の満足度



全国：「平成27年転職者実態調査」より作成。

大卒：「平成27年転職者実態調査」より作成。『全国大卒』は最終学歴が「大学」のもの。

## 大学卒業後の進路イメージ

これまでのデータより、本学卒業生は卒業後、全国平均よりも多い90%前後が『正規雇用者』として働いており、このうちの70%以上が最初の仕事に『満足』と回答している。

その後、就職したことがある人のうち、1割強が大学卒業3年以内に転職している。離職率について、卒業後3年目となっている「平成29年度卒業生」17.7%は、全国の「平成29年度卒」22.8%を5ポイント以上下回っている。

卒業後3年以内に転職した場合、本学では『収入が増えた』と回答した人が『収入が減った』と回答した人よりも多くなっている。本学の『収入が増えた』の割合は全国、全国大卒よりも多くなっている。

また『満足』という回答した人が、全国・全国大卒と同様およそ7割となっており、「新卒後3年は勤めた方が良い」といった助言は当てはまりにくい可能性がある。



## 2 Uターン率

前々回調査について尋ねたところ、「Uターン率」を算出しており、以下のように計算する。

$$\text{「Uターン率」} = \frac{\text{初職の勤務地が静岡県外の者のうち、現在の居住地が静岡県の者の数}}{\text{全回答者数}} \times 100$$

このとき、今回調査での「Uターン率」は2.8%である。なお、平成26年度、平成29年度ではともに1.4%であった。

だが、この「Uターン率」は「初職の勤務地」と「(出生地とは限らない)静岡県での現在の居住」が基準になっており「Uターン」<sup>1</sup>や「Uターン者」<sup>2</sup>の一般的な語義と必ずしも合致するものではない。また、「Uターン」という語自体、国内の特定の地点を出身地と定められることを前提としている。そこで、本調査では平成29年度より出生や居住ではなく、県内就労をもとに設定し直した「勤務地Uターン率」を算出している。

「勤務地Uターン」を「大学卒業後、最初の勤務先が静岡県外の者のうち、調査時点現在、静岡県で就労している者」と便宜的に定める。このことから、以下のように計算する。

$$\text{「勤務地Uターン率」} = \frac{\text{初職の勤務地が静岡県外の者のうち、現職の勤務地が静岡県内の者の数}}{\text{全回答者数}} \times 100$$

全回答者570名うち、初職の勤務先が静岡県外の者は210名おり、そのうち、現職の勤務先が静岡県の者は12名である。このことから、「勤務地Uターン率」は2.1%である。なお、平成29年度は1.0%であった。また、初職の勤務先が静岡県内の者は263名おり、そのうち、現職の勤務先が静岡県外の者は6名であった。2.3%が静岡県を離れていったことがわかる。転入超過は6人、転入超過率は1.1%である。なお、平成29年度は転出超過が6人、転出超過率が1.2%であった。

### 大学卒業後の勤務地Uターンイメージ

本学卒業後、静岡県外で働き、現在、静岡県内で働く卒業生の割合は2.1%となっており、平成29年度より1.1ポイント増加している。なお、比較はできず、あくまで参考だが、国立社会保障・人口問題研究所「第8回人口移動調査」では、「15歳から29歳」のUターン者の割合が11.8%となっている。

#### ※参照

また、国立社会保障・人口問題研究所「第8回人口移動調査 概要」(2017)では、全国のUターン者割合は20.4%となっている。うち15歳から29歳の割合は11.8%である。また、静岡県出身者のUターン者割合は23.4%、県外移動歴無し者(県内にとどまっている者)は47.4%、県外移動した非Uターン者(県外に出たまま静岡県に居住地を移さない者)は23.4%、移動歴不明者(移動歴を補足できない者)は9.7%である。

1 独立行政法人 労働政策研究・研修機構「Uターン者の促進・支援と地方の活性化 ―若年期の地域移動に関する調査結果―」(2016年5月)と尋ねたところ、「Uターン」を「生まれ育った故郷から進学や就職を機に都会へ移住した後、再び生まれ育った故郷に移住すること」と定義している。

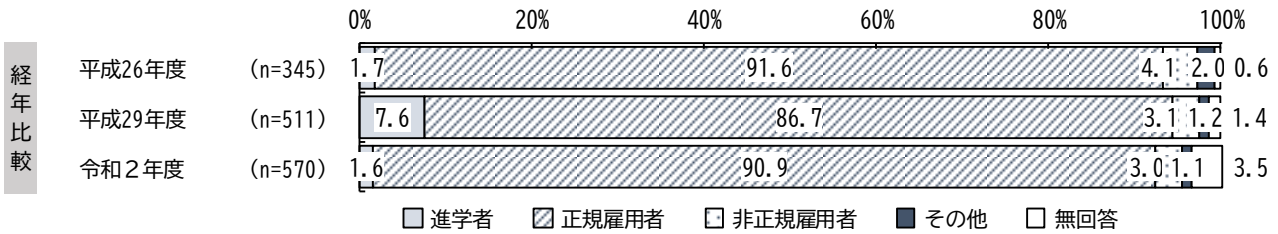
2 国立社会保障・人口問題研究所「第8回人口移動調査 概要」(2017年10月)と尋ねたところ、「Uターン者」を「出生都道府県から県外に移動したのち、再び出生都道府県に戻った人」と定義している。

### 3 本学卒業生の現在の就労状況

#### 現職の雇用形態

本学卒業生の調査時点現在の雇用形態は、『正規雇用者』が9割程度で推移している。

図 現職の雇用形態



#### 現職の通勤・通学時間と労働時間

本学卒業生の通勤時間は平均31.0分、通学時間は平均18.8分である。いずれも静岡県・全国の平均と比較して少ない移動時間である。

また、労働時間を本学卒業生と全国とで比較すると、本学で最も多いのは「40～48時間」67.0%で、次いで多いのは「49～59時間」17.0%となっている。全国で最も多いのは「40～48時間」43.0%で、次いで多いのは「39時間以下」34.4%となっている。

図 現在の通勤・通学時間 (分)

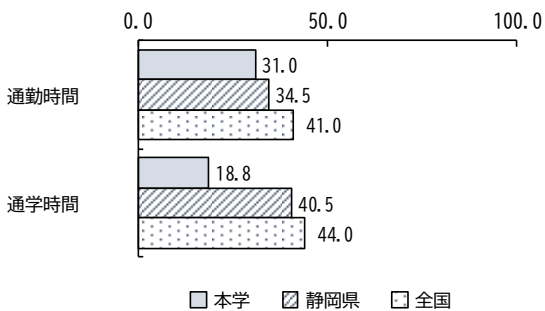


図 現在の労働時間

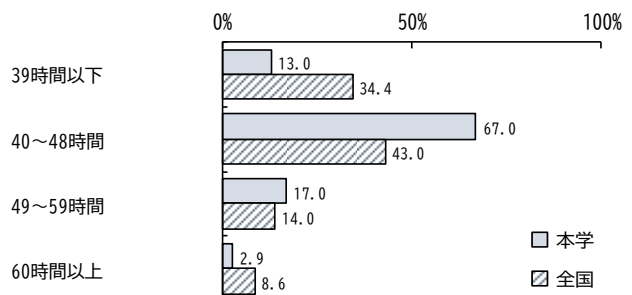


図 現在の通勤・通学時間

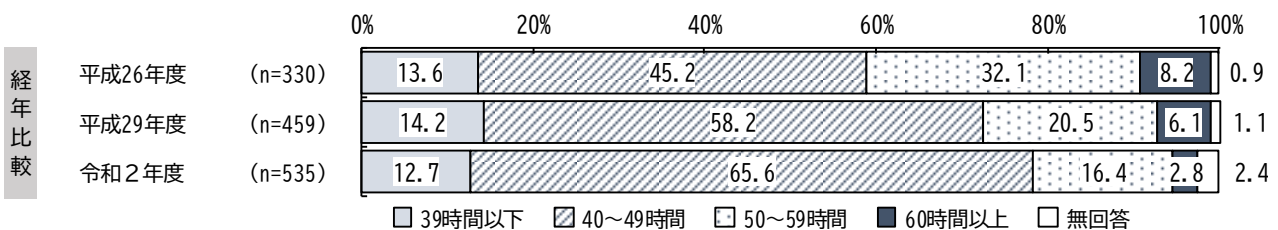
静岡県・全国：総務省「平成28年社会生活基本調査A票」より作成。平日の通勤・通学の往復時間をもとに、それぞれ2で除して片道平均時間とした。

図 現在の労働時間

全国：総務省「平成28年社会生活基本調査B票」より作成。本学のデータは、全国のデータに合わせて再分類した

この労働時間のうち、「50～59時間」、「60時間以上」は平成26年度以降、一貫して減少している。

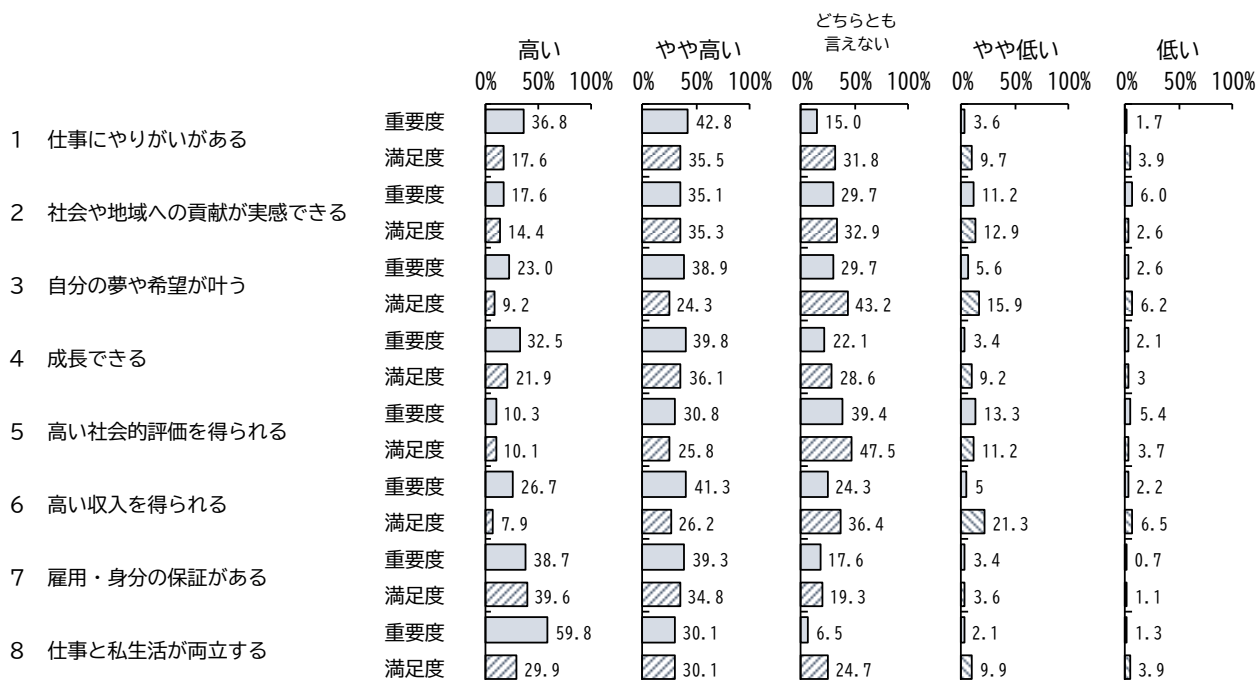
図 現在の労働時間の推移



## 現職の重要度・満足度

本学卒業生に対して、勤務先で得られるものについて重要度と満足度について尋ねた。このとき、重要度が「高い」と20%以上が回答している項目で、「雇用・身分の保証がある」以外は、満足度が重要度を10ポイント以上下回っている。

図 現職の重要度・満足度



## 本学卒業生の働き方のイメージ

本学卒業生は、卒業後3年のうちに様々なキャリアを積んでいるが、多くの者は、現在、平均20～30分程度で通勤・通学し、1週間に40～48時間の労働に従事している。

ただし、卒業生が現状に満足しているとは限らない可能性がある。働く上で重要だと考えている点について、現実の職場で高い満足を得られることはあまり多くないようである。



### 3 調查結果

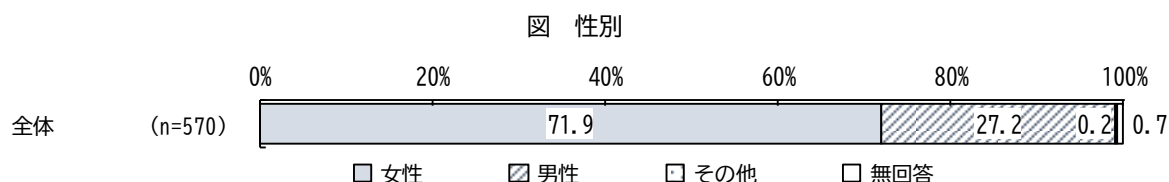


### 3 調査結果

#### 1 あなたご自身について

##### 性別

性別について尋ねたところ、「女性」71.9%が最も多く、次いで「男性」27.2%、「その他」0.2%の順である。



##### 現在の居住地

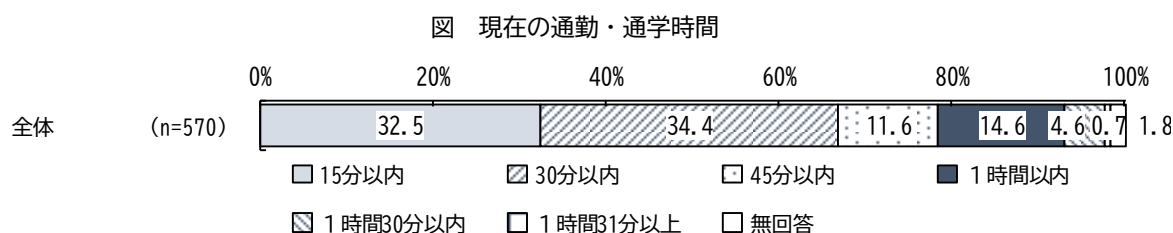
現在の居住地について尋ねたところ、「静岡県」60.7%が最も多く、次いで「東京都」10.4%、「愛知県」6.1%、「神奈川県」4.0%、「千葉県」2.1%での順ある。

表 現在の居住地

現住所	回答数	パーセント
北海道	2	0.4
青森県	4	0.7
岩手県	-	-
宮城県	3	0.5
秋田県	-	-
山形県	1	0.2
福島県	-	-
茨城県	8	1.4
栃木県	2	0.4
群馬県	2	0.4
埼玉県	8	1.4
千葉県	12	2.1
東京都	59	10.4
神奈川県	23	4.0
新潟県	1	0.2
富山県	-	-
石川県	2	0.4
福井県	2	0.4
山梨県	4	0.7
長野県	3	0.5
岐阜県	3	0.5
静岡県	346	60.7
愛知県	35	6.1
三重県	2	0.4
滋賀県	1	0.2
京都府	7	1.2
大阪府	13	2.3
兵庫県	2	0.4
奈良県	2	0.4
和歌山県	2	0.4
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	2	0.4
広島県	1	0.2
山口県	1	0.2
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	1	0.2
高知県	1	0.2
福岡県	1	0.2
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	1	0.2
大分県	1	0.2
宮崎県	2	0.4
鹿児島県	-	-
沖縄県	1	0.2
海外	-	-
無回答	9	1.6
調査数	570	100.0

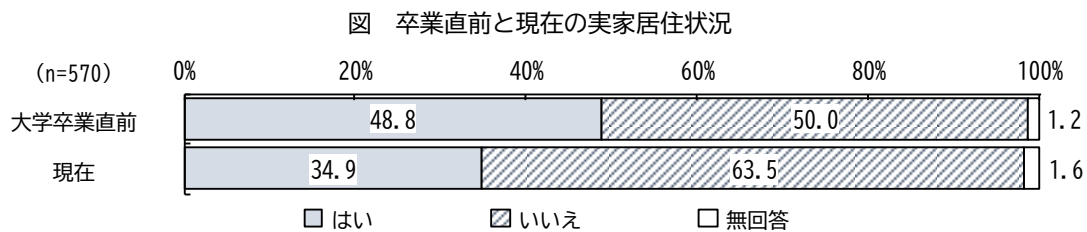
##### 現在の通勤・通学時間

通勤時間について尋ねたところ、「30分以内」34.4%が最も多く、次いで「15分以内」32.5%である。



### 大学卒業直前と現在の実家居住状況

大学卒業直前と現在の実家居住状況について尋ねたところ、大学卒業直前は「いいえ」が50.0%だったが、現在は「いいえ」が63.5%と増えている。

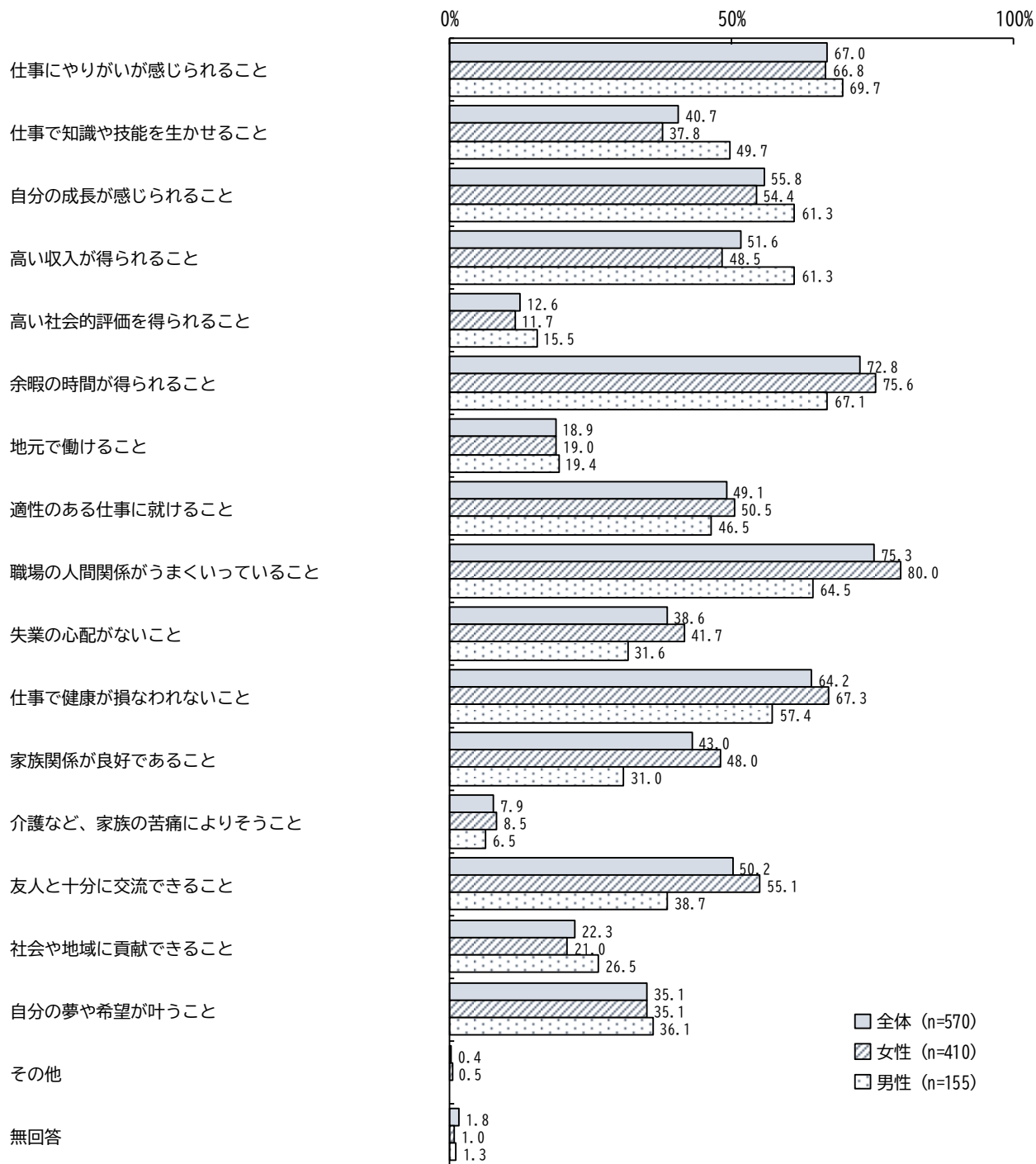




## 職業や生活を通して重要なこと

職業や生活を通して重要なことについて尋ねたところ、「職場の人間関係がうまくいっていること」75.3%が最も多く、次いで「余暇の時間が得られること」72.8%、「仕事にやりがいを感じられること」67.0%、「仕事で健康が損なわれないこと」64.2%、「自分の成長を感じられること」55.8%の順である。

図 職業や生活を通して重要なこと



## 2 本学での学習・生活について

### 本学を卒業した時期

卒業した時期について尋ねたところ、「平成31年3月」35.6%が最も多く、次いで「令和2年3月」33.7%、「平成30年3月」28.9%の順である。

表 本学を卒業した時期

卒業年度	回答数	パーセント
平成29年9月	-	-
平成30年3月	165	28.9
平成30年9月	5	0.9
平成31年3月	203	35.6
令和元年9月	3	0.5
令和2年3月	192	33.7
無回答	2	0.4
調査数	570	100.0

### 卒業した学部・学府・研究科

学部・学府・研究科について尋ねたところ、「国際関係学部」26.8%が最も多くなっている。

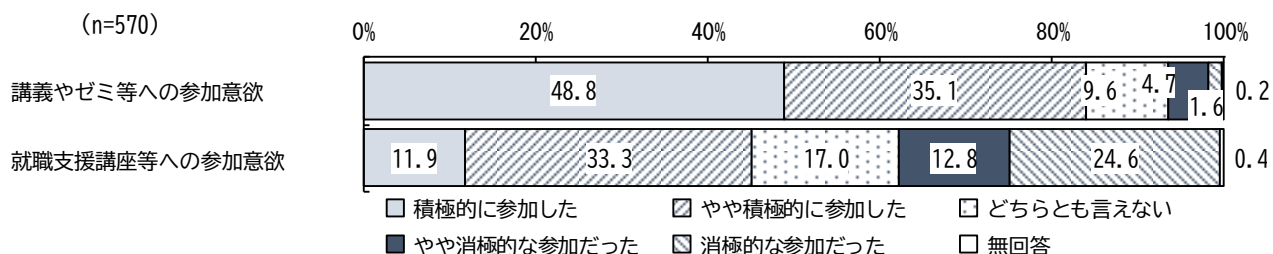
表 卒業した学部・学府・研究科

学部・研究科・学府	回答数	パーセント
薬学部	90	15.8
食品栄養科学部	50	8.8
国際関係学部	153	26.8
経営情報学部	83	14.6
看護学部	111	19.5
薬食生命科学総合学府（薬学系）	22	3.9
薬食生命科学総合学府（食品系）	38	6.7
国際関係学研究科	6	1.1
経営情報イノベーション研究科	5	0.9
看護学研究科	8	1.4
無回答	4	0.7
調査数	570	100.0

## 講義やゼミの参加、大学主催の就職支援講座等の参加の程度

講義やゼミ等への参加の程度について尋ねたところ、「積極的に参加した」48.8%が最も多く、次いで「やや積極的に参加した」35.1%である。また、大学主催の就職支援講座等の参加の程度について尋ねたところ、「やや積極的に参加した」33.3%が最も多く、次いで「消極的な参加だった」24.6%である。

図 講義やゼミの参加、大学主催の就職支援講座等の参加の程度



## 実社会で役に立っている科目

実社会で役に立っている科目について尋ねたところ、全学で最も多いのは「薬理学」で、次いで多いのは「英語」、「PCスキル」、「ゼミ」、「簿記」である。薬学、英語、簿記・会計関連、OA関連といった、勤務先で使用することのある技術に関するものが多い傾向が見られる。

学部別にみると、薬学部、看護学部と食品栄養科学部では、複数名が「実習」関連の科目を挙げている。

表 主に実社会で役に立っている科目（全学）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
薬理学	36	プログラミング	11	分析化学	7
英語	29	統計学	11	薬学系全般	7
PCスキル	20	薬物動態学	11	英会話	6
ゼミ	19	実習	10	中国語	6
簿記	19	成人看護学	10	看護系全般	6
全般	14	研究活動	8	食品化学	6
情報リテラシー	14	語学（第二外国語を含む）	8	製剤学	6
マーケティング	13	情報処理	8	調理実習	6
経営学	12	専門科目全般	7	微生物学	6
基礎看護技術	11	基礎看護学	7		

※回答数が6つ以上のものを掲載している。

表 主に実社会で役に立っている科目（薬学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
薬理学	32	法規	5	分析化学	3
薬物動態学	8	病態学	4	薬学	3
薬学系全般	6	実践薬学	3	薬物療法	3
製剤学	5	実務実習	3		

表 主に実社会で役に立っている科目（食品栄養科学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
調理実習	6	統計学	4	微生物学	3
給食経営管理論	4	食品化学	3	PCスキル	3
卒業研究	4	専門科目全般	3		

表 主に実社会で役に立っている科目（国際関係学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語	20	キャリア関連全般	4	国際政治学	3
ゼミ	12	キャリア形成概論	4	社会学	3
語学（第二外国語を含む）	8	経営学	4	心理学	3
全般	7	国際関係全般	4	静岡学	3
英会話	5	スペイン語	3	日本語文法論	3
情報リテラシー	5	教職関連科目	3		
中国語	5	経済学	3		

表 主に実社会で役に立っている科目（経営情報学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
簿記	19	プログラミング	11	会計学	7
マーケティング	13	情報リテラシー	9	情報処理	6
PCスキル	12	経営学	8	ゼミ	3

表 主に実社会で役に立っている科目（看護学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
基礎看護技術	11	全般	5	実技全般	3
成人看護学	10	機能形態学	4	小児看護学	3
実習	8	公衆衛生学	4	専門科目全般	3
基礎看護学	7	解培生理	3	病態生理学	3
看護系全般	5	基礎看護	3	病理学	3

表 主に実社会で役に立っている科目（薬食生命科学総合学府（薬学系））

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
分析化学	4	研究活動	3	薬物動態学	3

表 主に実社会で役に立っている科目（薬食生命科学総合学府（食品系））

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
研究活動	3	食品化学	3	微生物学	3

表 主に実社会で役に立っている科目（国際関係学研究科）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語	2	国際経済法	1	知的財産	1
国際関係学	1	国際法	1	中国語	1
国際経営学	1	ゼミ	1	日本語教育学研究	1

表 主に実社会で役に立っている科目（経営情報イノベーション研究科）

自由記述	件数	自由記述	件数
起業家の講座	1	ゼミ	1
情報	1	統計学全般	1

表 主に実社会で役に立っている科目（看護学研究科）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
研究法	2	シミュレーション	1	母性看護学	1
家族社会学	1	社会心理学	1	薬理学	1
看護系全般	1	専門科目全般	1		

※学部・学府・研究科別では回答数が3つ以上のものを掲載している。ただし、回答数が2つ以下しかないものは学部・学府・研究科別では回答数が2つ以下でも掲載している。

## 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目

大学時代にやっておけばよかったと感じている科目について尋ねたところ、全学で最も多いのは「英語」である。次いで多いのは「経済学」、「語学（第二外国語を含む）」、「PCスキル」、「簿記」の順である。「英語」、「語学（第二外国語を含む）」、「中国語」、「英会話」の語学関連科目で119件あり、語学関連科目の重要度が高いことがうかがえた。また、「経済学」、「簿記」、「経営学」などお金の動きに関連する科目も56件あり、経済情勢などへの関心の高さがうかがえた。

学部別にみると、全ての学部で「英語」に関連する科目が上位に位置している。また、薬学部では、「統計学」、「病態学」、国際関係学部では、「統計学」、「プログラミング」、「会計学」、「世界史」、「法律」、経営情報学部では、「プログラミング」、「資格取得科目」がそれぞれ挙げられている。

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（全学）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語	74	簿記	16	中国語	10
経済学	30	プログラミング	15	英会話	8
語学（第二外国語を含む）	27	統計学	14	ビジネスマナー	6
PCスキル	27	経営学	10	資格取得科目	6

※回答数が6つ以上のものを掲載している。

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（薬学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語	23	英会話	3	病態学	3
統計学	5	語学（第二外国語を含む）	3		

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（食品栄養科学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
経済学	5	PCスキル	5	語学（第二外国語を含む）	3

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（国際関係学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
PCスキル	15	語学（第二外国語を含む）	9	プログラミング	3
英語	14	経営学	6	会計学	3
経済学	12	中国語	6	世界史	3
簿記	11	統計学	4	法律	3

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（経営情報学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語	10	簿記	4	資格取得科目	3
プログラミング	8	経済学	3		
PCスキル	4	語学（第二外国語を含む）	3		

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（看護学部）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
英語	13	語学（第二外国語を含む）	7	経済学	3

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（薬食生命科学総合学府（薬学系））

自由記述	件数	自由記述	件数
英語	3	経済学	3

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（薬食生命科学総合学府（食品系））

自由記述	件数
英語	7

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（国際関係学研究科）

自由記述	件数	自由記述	件数
ICT全般	1	経営学	1
統計学	1	語学（第二外国語を含む）	1

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（経営情報イノベーション研究科）

自由記述	件数	自由記述	件数
数学	1	文化人類学	1

表 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目（看護学研究科）

自由記述	件数	自由記述	件数	自由記述	件数
ゼミ	1	教育学	1	製剤学	1
セミナー	1	経済学	1		
英語	1	語学（第二外国語を含む）	1		

※学部・学府・研究科別では回答数が3つ以上のものを掲載している。ただし、回答数が2つ以下しかないものは学部・学府・研究科別では回答数が2つ以下でも掲載している。

## キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点

大学卒業後、キャリア・就職支援を振り返って良かった点、これから期待したい点について尋ねた。これらを要約・整理し「主なよかった点」、「主なこうして欲しかった点」、「その他」に分類した。

「主なよかった点」に分類される項目について、全学で見ると、「面接指導がよかった」が最も多く、面接関連の記述は非常に多かった。次いで「相談に親身になってくれたのがよかった。」、「OB・OGの資料が見られたのがよかった。」の順である。他には「ES、履歴書、小論文の添削・相談」29件あり、指導、面倒見の良さについての評価が高いことがわかった。

「主なこうして欲しかった点」については、要望にばらつきが多かった。全学をみると、「県外企業の情報がほしかった。」が最も多く、次いで「情報を積極的に開示してほしかった。」、「OB・OGの繋がりを充実してほしかった。」の順である。情報の開示については、キャリア支援センターの利用方法、サポート内容についての情報を求める意見があり、キャリア支援センターで行っている内容について説明する機会を充実する必要性がうかがえた。他にも「予約を取りやすくしてほしかった。」があり、利用者が多くなったために、予約が取りにくくなっている可能性がある。また、薬学部や看護学部からの要望としては、専門分野に特化した支援が欲しいというものがある。

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（全学）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	52
相談に親身になってくれたのがよかった。	25
OB・OGの資料が見られたのがよかった。	16
ESの添削・相談がよかった。	13
履歴書の添削・相談がよかった。	9
学内企業説明会がよかった。	8
講座（ES・就活・面接・メイク講座など）がよかった。	7

よかった点	件数
小論文の添削・相談がよかった。	6
OB・OGの体験談を聞いたのがよかった。	4
様々な求人があつてよかった。	4
就職関連書籍が充実していてよかった（貸し出しも含む）。	4
キャリア支援センターの雰囲気よかった。	3
自己PRの添削・相談がよかった。	3
添削がよかった。	3

こうして欲しかった点	件数
予約を取りやすくしてほしかった。	12
県外企業の情報がほしかった。	8
情報を積極的に開示してほしかった。	8
OB・OGの繋がりを充実してほしかった。	6
OB・OG訪問を充実してほしかった。	5
面接対策を充実させてほしかった。	5
OB・OGの資料がもっとほしかった。	4
キャリア支援センターの利用を促してほしかった。	4

こうして欲しかった点	件数
専門分野に合わせたアドバイスがほしかった。	4
キャリア支援センターの人数を増やしてほしかった。	3
情報を積極的に共有してほしかった。	3
専門職への支援を充実してほしかった。	3
専門分野以外の事例も提示してほしかった。	3
早い段階から就職支援の説明がほしかった。	3

※回答数が3つ以上のものを掲載している。

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（薬学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	6
相談に親身になってくれたのがよかった。	4

よかった点	件数
学内企業説明会がよかった。	3

こうして欲しかった点	件数
情報を積極的に開示してほしかった。	3

こうして欲しかった点	件数
専門分野以外の事例も提示してほしかった。	3



表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（食品栄養科学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	5
相談に親身になってくれたのがよかった。	5

よかった点	件数
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	4
ESの添削・相談がよかった。	3

こうして欲しかった点	件数
早い段階から就職支援の説明がほしかった。	2
資金面での支援を充実してほしかった。	1

こうして欲しかった点	件数
OB・OGの繋がりを充実してほしかった。	1
早い段階から情報がほしかった。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（国際関係学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	8
相談に親身になってくれたのがよかった。	6

よかった点	件数
ESの添削・相談がよかった。	4
講座（ES・就活・面接・メイク講座など）がよかった。	3

こうして欲しかった点	件数
情報を積極的に開示してほしかった。	4
OB・OG訪問を充実してほしかった。	3

こうして欲しかった点	件数
面接対策を充実させてほしかった。	3

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（経営情報学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	7

よかった点	件数
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	3

こうして欲しかった点	件数
県外企業の情報がほしかった。	2
専門分野に合わせたアドバイスがほしかった。	2
ESの添削の回数を増やしてほしかった。	1
OB・OGの資料がもっとほしかった。	1
企業数を増やしてほしかった。	1
企業の方と話せる機会がほしかった。	1
キャリア支援センターが利用しやすい雰囲気にしてほしかった。	1
キャリア支援センターの利用を促してほしかった。	1

こうして欲しかった点	件数
公務員対策講座を文系・理系で分けてほしかった。	1
情報を積極的に開示してほしかった。	1
先輩から聞けるインターンシップの情報を手厚くしてほしかった。	1
予約を取りやすくしてほしかった。	1
面接対策を充実させてほしかった。	1
面接練習の回数を増やしてほしかった。	1
履歴書作成講座をしてほしかった。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（看護学部）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	18
小論文の添削・相談がよかった。	6

よかった点	件数
相談に親身になってくれたのがよかった。	6

こうして欲しかった点	件数
予約を取りやすくしてほしかった。	4

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（薬食生命科学総合学府（薬学系））

よかった点	件数
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	2
就職関連書籍が充実していたよかった（貸し出しも含む）。	2
相談に親身になってくれたのがよかった。	2

よかった点	件数
面接指導がよかった。	2
E Sの添削・相談がよかった。	1
学内企業説明会がよかった。	1

こうして欲しかった点	件数
情報を積極的に共有してほしいかった。	1
専門職への支援を充実してほしいかった。	1

こうして欲しかった点	件数
予約を取りやすくしてほしいかった。	1
集団面接対策を充実してほしいかった。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（薬食生命科学総合学府（食品系））

よかった点	件数
面接指導がよかった。	5
E Sの添削・相談がよかった。	3

よかった点	件数
OB・OGの資料が見れたのがよかった。	3

こうして欲しかった点	件数
OB・OGの繋がりを充実してほしいかった。	2
OB・OG訪問を充実してほしいかった。	1
インターンシップの紹介を充実してほしいかった。	1
学業と就活を両立するための支援がほしいかった。	1

こうして欲しかった点	件数
キャリア支援センターに入りやすい雰囲気にしてほしいかった。	1
キャリア支援センターの人数を増やしてほしいかった。	1
東京だけでも県立大生が使用できるサテライトスペースがほしいかった。	1
ユニパで予約できるようにしてほしいかった。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（国際関係学研究科）

こうして欲しかった点	件数
就職後に必要となる情報がほしいかった。	1

こうして欲しかった点	件数
募集要綱の見方や会社が出している条件など教えてほしいかった。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（経営情報イノベーション研究科）

よかった点	件数
社会人や起業家の方と接点を持てたことがよかった。	1

表 キャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点（看護学研究科）

よかった点	件数
面接指導がよかった。	1

よかった点	件数
論文の添削・相談がよかった。	1

こうして欲しかった点	件数
OB・OGの資料がもっとほしいかった。	1

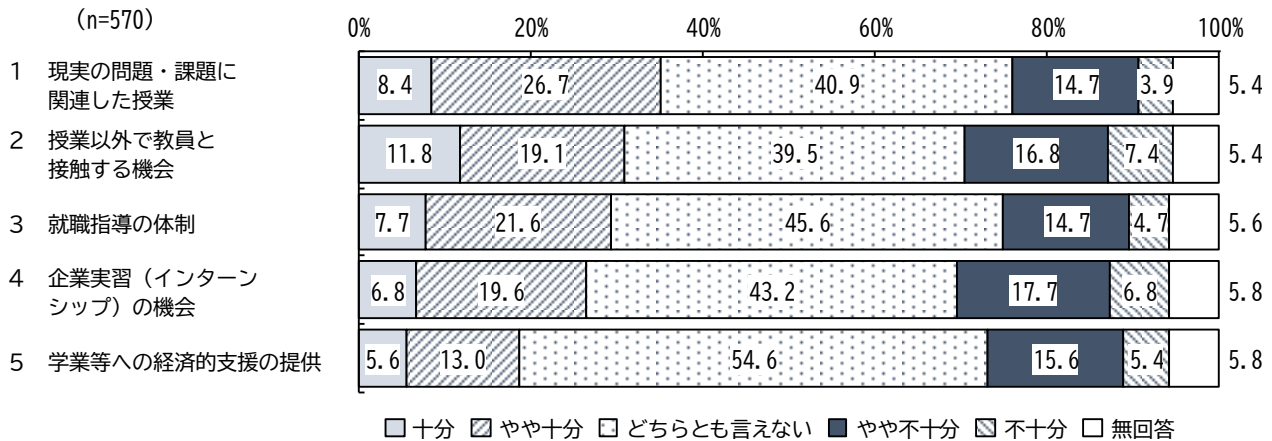
※学部・学府・研究科別では回答数が3つ以上のものを掲載している。ただし、回答数が2つ以下しかないものは学部・学府・研究科別では回答数が2つ以下でも掲載している。

### 3 就職活動と本学卒業後の最初の勤務先について

#### 就職活動支援の評価（5段階評価）

在学中の就職活動支援について5つの項目について、「1」を「十分」、「5」を「不十分」とする5段階での評価を尋ねた。「十分」という回答が最も多いのは、「2 授業以外で教員と接触する機会」11.8%で、次いで「1 現実の問題・課題に関連した授業」8.4%である。

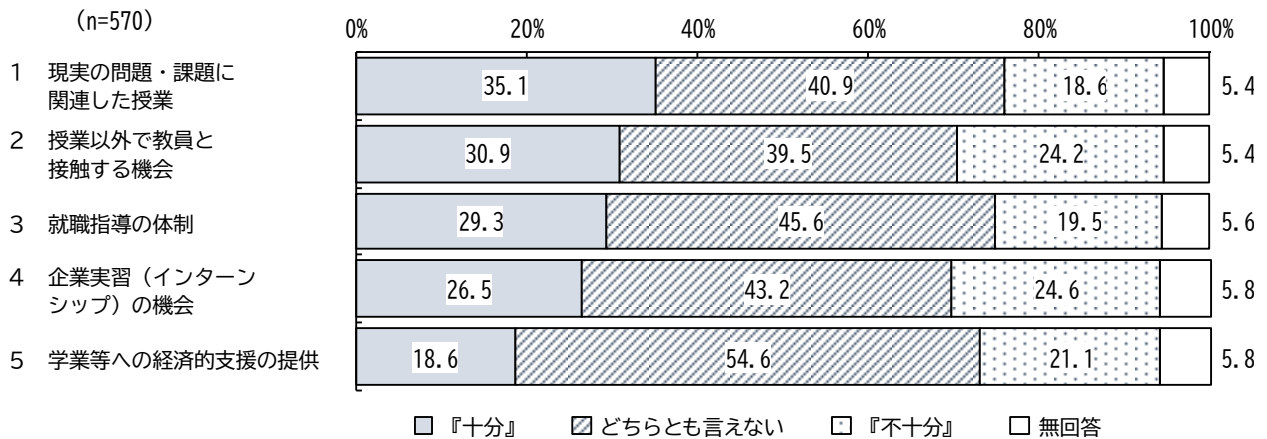
図 就職活動支援の評価（5段階評価）



#### 就職活動支援の評価（3段階評価）

また、「1」、「2」を合算した『十分だった』、『どちらとも言えない』、「4」、「5」を合算した『不十分だった』の3段階評価としたところ、評価が最も多い項目は「1 現実の問題・課題に関連した授業」35.1%で、次いで「2 授業以外で教員と接触する機会」30.9%である。

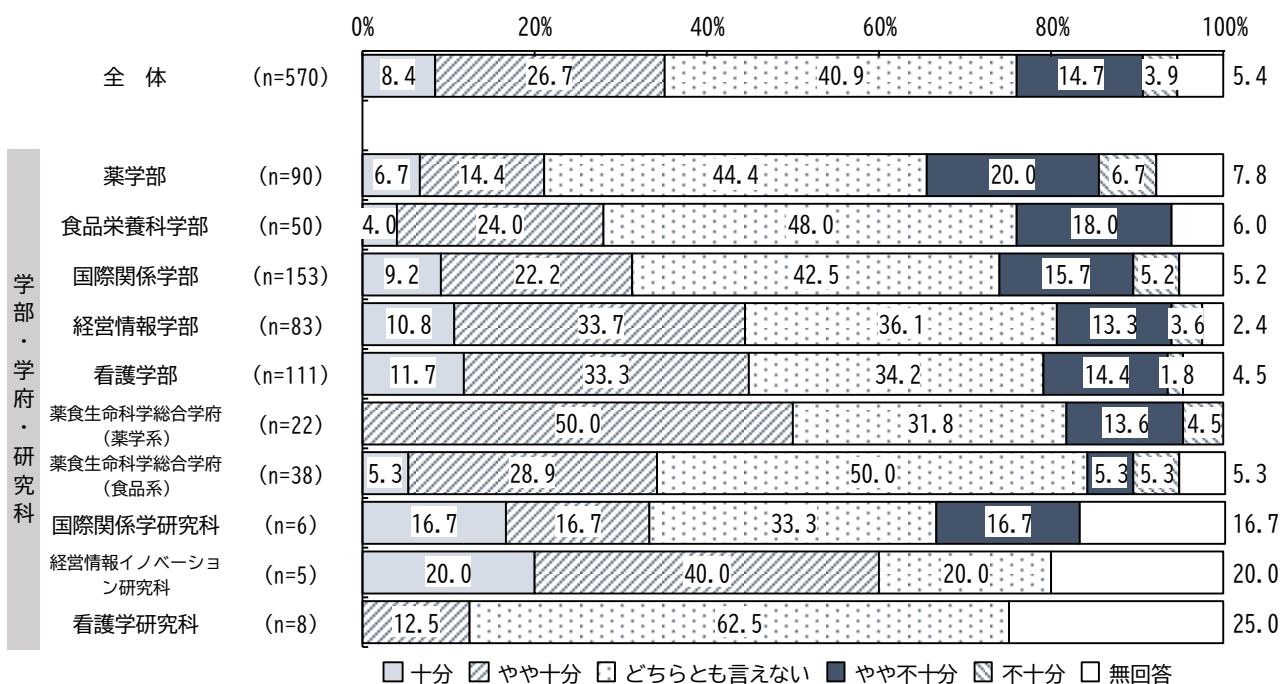
図 就職活動支援の評価（3段階評価）



# 就職活動支援の評価（5段階評価）学部・学府・研究科別クロス集計

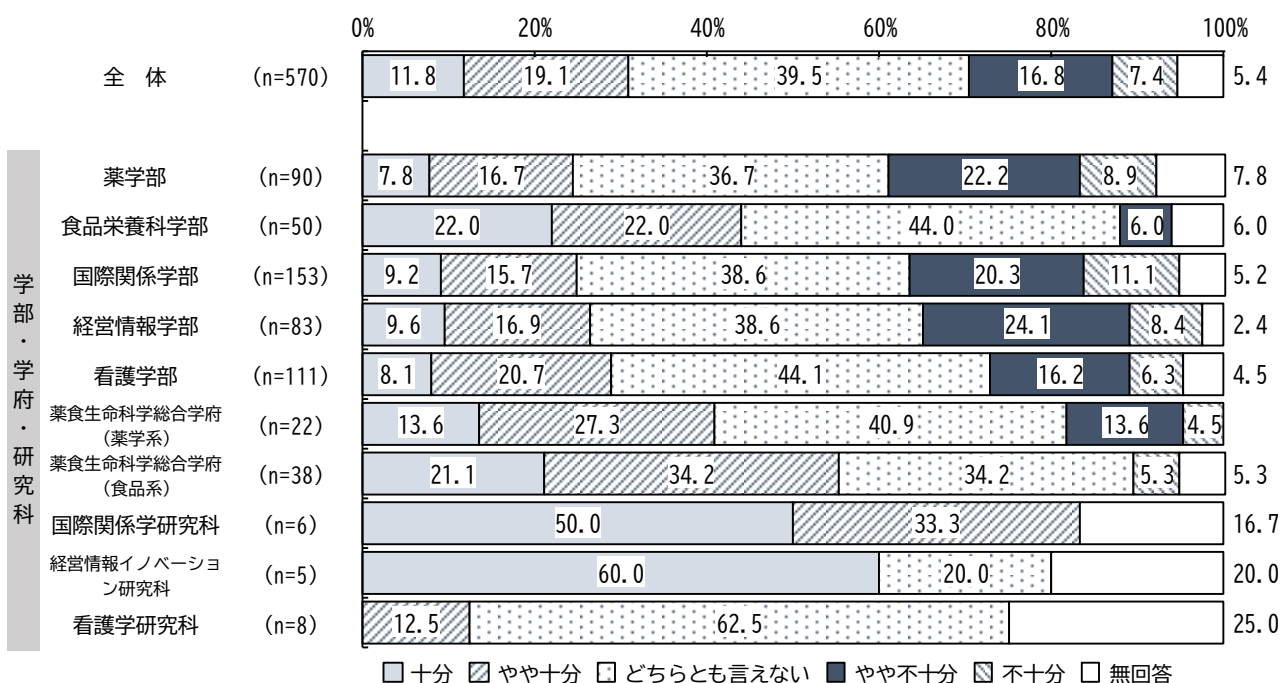
## 1 現実の問題・課題に関連した授業

図 1 現実の問題・課題に関連した授業



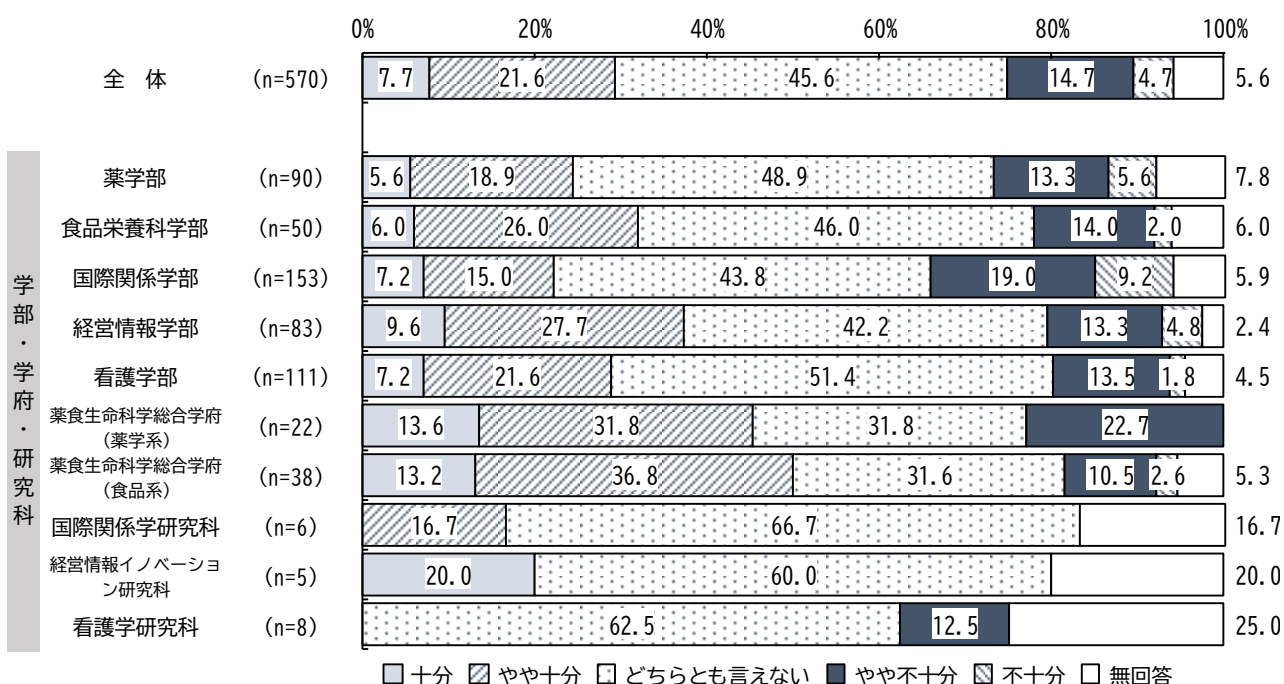
## 2 授業以外で教員と接触する機会

図 2 授業以外で教員と接触する機会



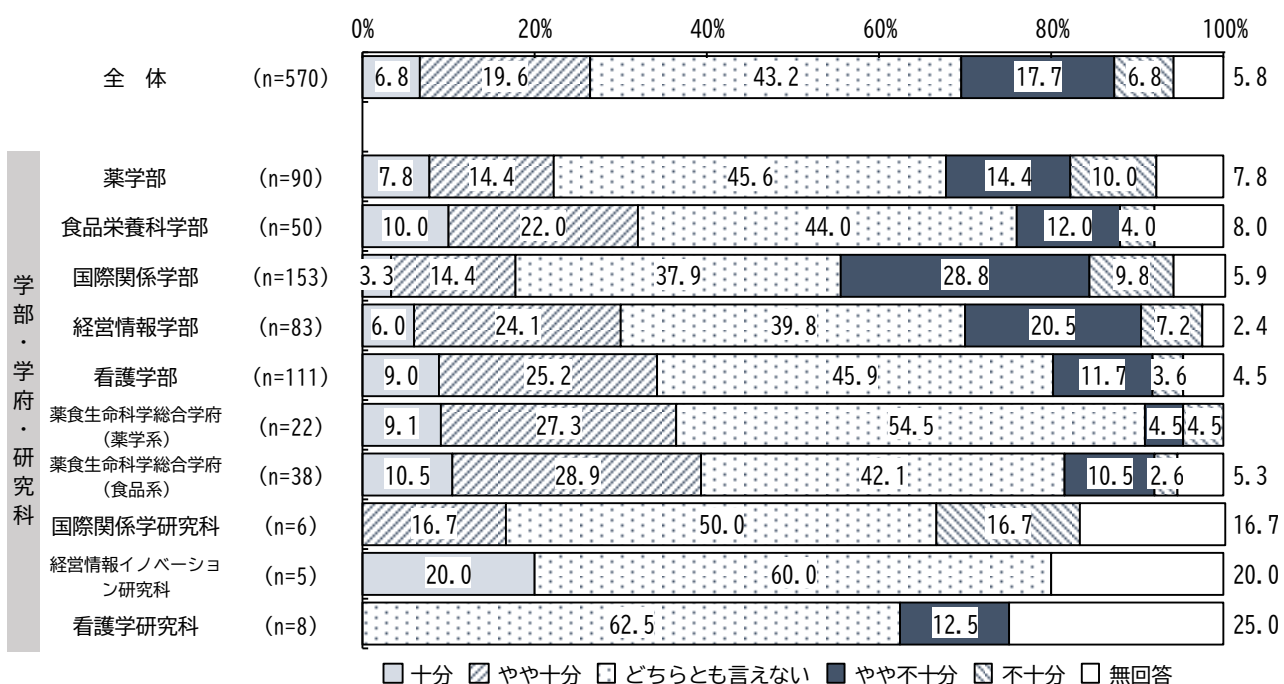
### 3 就職指導の体制

図 3 就職指導の体制



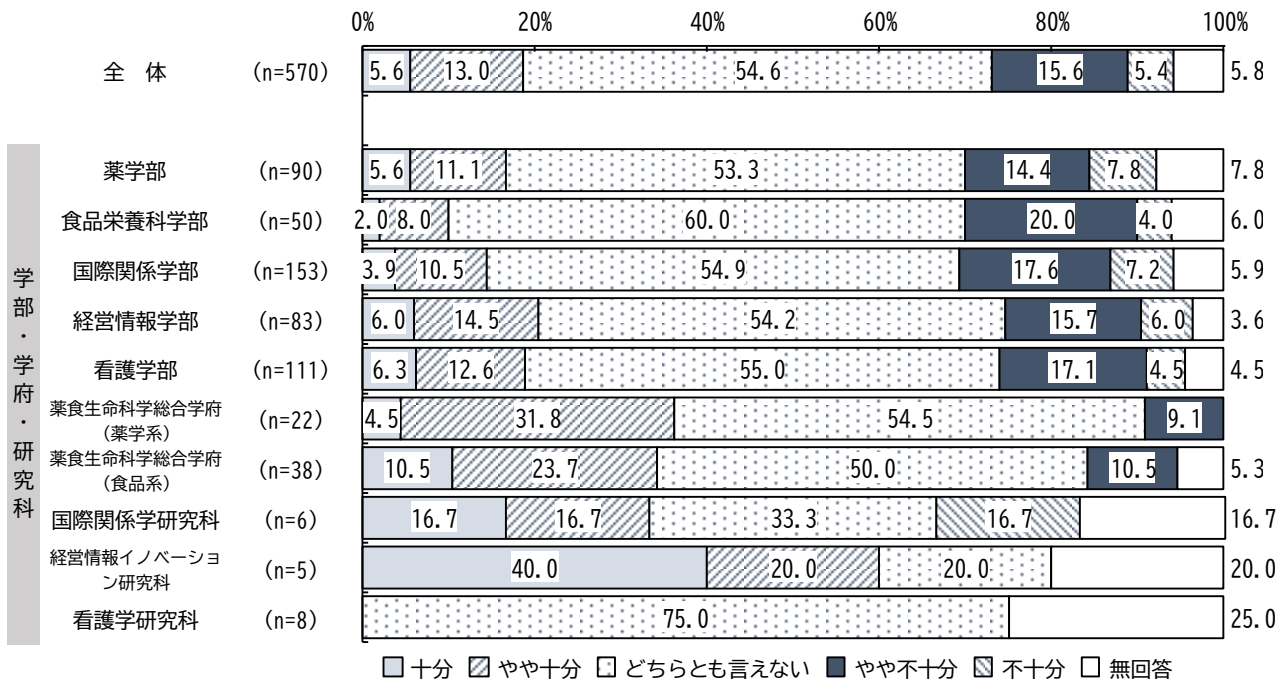
### 4 企業実習 (インターンシップ) の機会

図 4 企業実習 (インターンシップ) の機会



## 5 学業等への経済的支援の提供

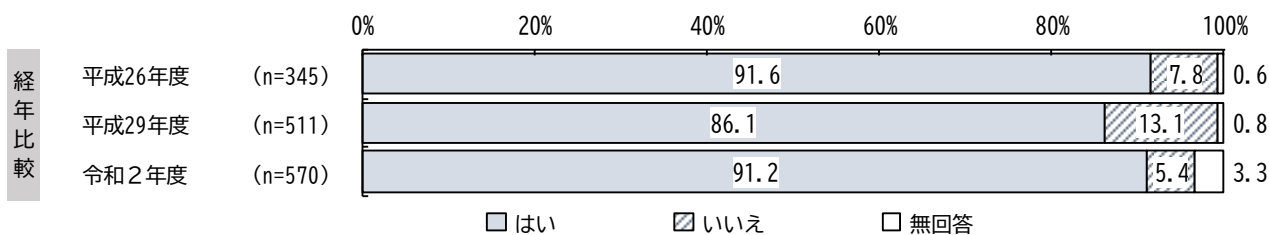
図 5 学業等への経済的支援の提供



## 就職活動（公務員試験等を含む）の有無

就職活動（公務員試験等を含む）の有無について尋ねたところ、「はい」91.2%が最も多くなっている。なお、平成26年度、平成29年度ともに85.0%を超えていた。

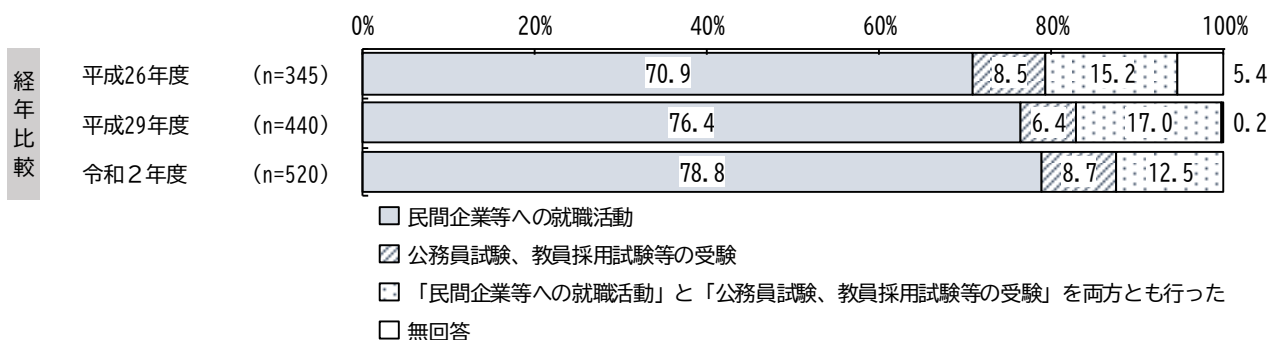
図 就職活動（公務員試験等を含む）の有無



## 就職活動の内容

就職活動の内容について尋ねたところ、「民間企業等への就職活動」78.8%が最も多くなっている。なお、平成26年度、平成29年度ともに70.0%を超えていた。

図 就職活動の内容



## 就職活動をしなかった理由

就職活動をしなかった理由について尋ねたところ、「卒業前にしていた仕事を続けた」25.8%、「大学院その他に進学した」25.8%が最も多くなっている。

表 就職活動をしなかった理由

	平成26年度		平成29年度		令和2年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
就職活動をせずに仕事を見つけた	6	22.2	13	19.4	6	19.4
卒業前にしていた仕事を続けた	7	25.9	6	9.0	8	25.8
事業を始めた（自営を含む）	-	-	2	3.0	2	6.5
大学院その他に進学した	9	33.3	35	52.2	8	25.8
進学も就職もしなかった	1	3.7	4	6.0	2	6.5
その他	1	3.7	4	6.0	1	3.2
無回答	3	11.1	3	4.5	4	12.9
調査数	27	100.0	67	100.0	31	100.0

## 卒業直後の状況

卒業直後の状況について尋ねたところ、「正規雇用の従業員」89.6%が最も多くなっている。なお、平成26年度、平成29年度ともに85.0%を超えていた。

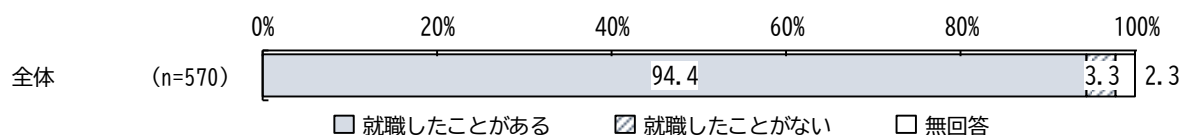
表 卒業直後の状況

	平成26年度		平成29年度		令和2年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
正規雇用の従業員	304	88.1	438	85.7	511	89.6
起業	1	0.3	2	0.4	2	0.4
非正規雇用の従業員	7	2.0	11	2.2	15	2.6
家業に従事	3	0.9	-	-	-	-
大学院生など他の学生	11	3.2	41	8.0	12	2.1
公務員・教員採用試験等の準備	2	0.6	2	0.4	2	0.4
家事・育児に専従	1	0.3	3	0.6	-	-
家族の介護に専従	-	-	-	-	-	-
無職で仕事を探していた	3	0.9	5	1.0	3	0.5
無職で特に何もしていなかった	-	-	1	0.2	3	0.5
その他	2	0.6	2	0.4	2	0.4
無回答	11	3.2	6	1.2	20	3.5
調査数	345	100.0	511	100.0	570	100.0

## 卒業後の就職有無（非正規も含む）

卒業後の就職有無（非正規も含む）について尋ねたところ、「就職したことがある」94.4%が最も多くなっている。

図 卒業後の就職有無（非正規も含む）



## 卒業後最初の勤務先の雇用形態

卒業後最初の勤務先の雇用形態について尋ねたところ、「正規雇用の従業員」95.9%が最も多くなっている。

表 卒業後最初の勤務先の雇用形態

	平成29年度		令和2年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント
正規雇用の従業員	434	96.2	516	95.9
起業	1	0.2	2	0.4
非正規雇用の従業員	14	3.1	18	3.3
家業に従事	-	-	-	-
その他	2	0.4	-	-
無回答	-	-	2	0.4
調査数	451	100.0	538	100.0



## 卒業後最初の勤務先の所在地

卒業後最初の勤務先の所在地について尋ねたところ、「静岡県」60.0%が最も多くなっている。

表 卒業後最初の勤務先の所在地

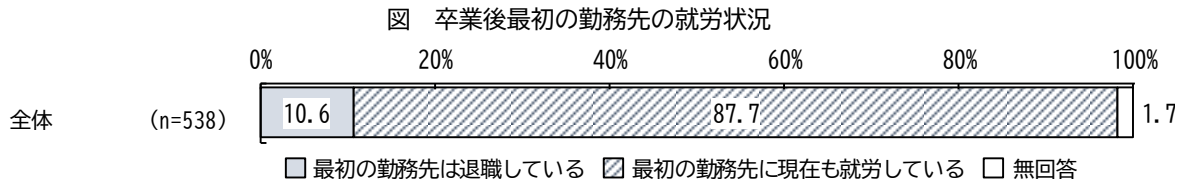
所在地	回答数	パーセント
北海道	2	0.4
青森県	2	0.4
岩手県	-	-
宮城県	4	0.7
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	7	1.3
栃木県	2	0.4
群馬県	1	0.2
埼玉県	6	1.1
千葉県	6	1.1
東京都	67	12.5
神奈川県	21	3.9
新潟県	1	0.2
富山県	-	-
石川県	1	0.2

所在地	回答数	パーセント
福井県	1	0.2
山梨県	5	0.9
長野県	2	0.4
岐阜県	3	0.6
静岡県	323	60.0
愛知県	34	6.3
三重県	4	0.7
滋賀県	1	0.2
京都府	8	1.5
大阪府	16	3.0
兵庫県	-	-
奈良県	3	0.6
和歌山県	1	0.2
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	2	0.4
広島県	1	0.2

所在地	回答数	パーセント
山口県	1	0.2
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	1	0.2
高知県	2	0.4
福岡県	1	0.2
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	1	0.2
大分県	1	0.2
宮崎県	2	0.4
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-
海外	-	-
無回答	5	0.9
調査数	538	100.0

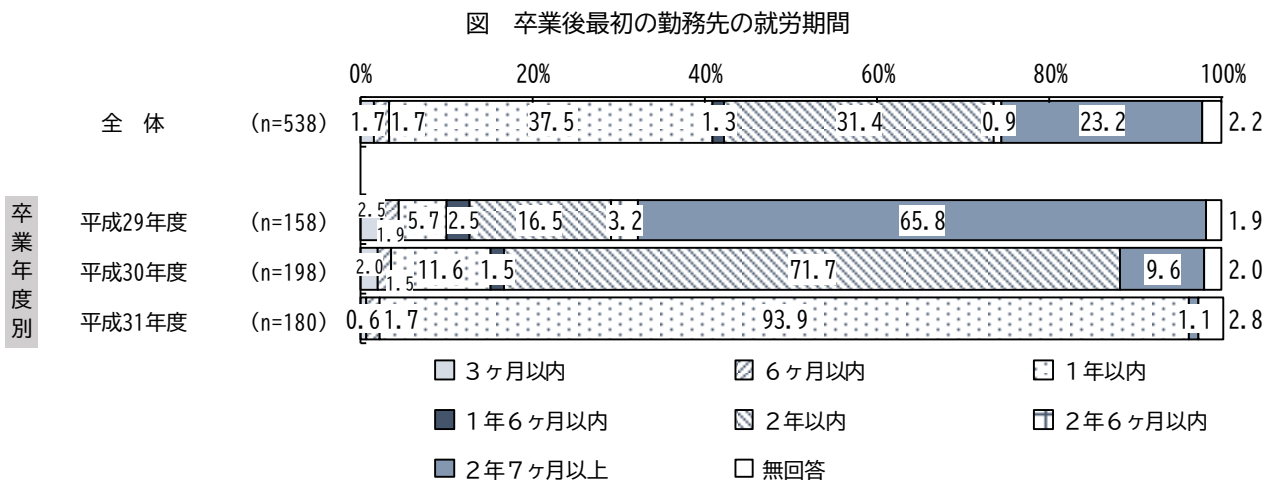
### 卒業後最初の勤務先の就労状況

卒業後最初の勤務先の就労期間について尋ねたところ、「最初の勤務先に現在も就労している」87.7%が最も多くなっている。



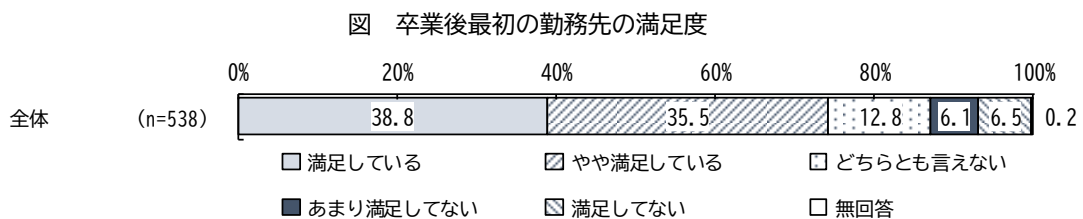
### 卒業後最初の勤務先の就労期間

卒業後最初の勤務先の就労期間について尋ねたところ、「1年以内」37.5%が最も多く、次いで「2年以内」31.4%、「2年7ヶ月以上」23.2%の順である。



### 卒業後最初の勤務先の満足度

卒業後最初の勤務先への満足度について尋ねたところ、「満足している」38.8%が最も多く、次いで「やや満足している」35.5%である。



## 4 現在の職場の状況について

### 現在の状況

現在の自身の状況について尋ねたところ、「正規雇用の従業員」90.2%が最も多くなっている。なお、平成26年度、平成29年度ともに85.0%を超えていた。

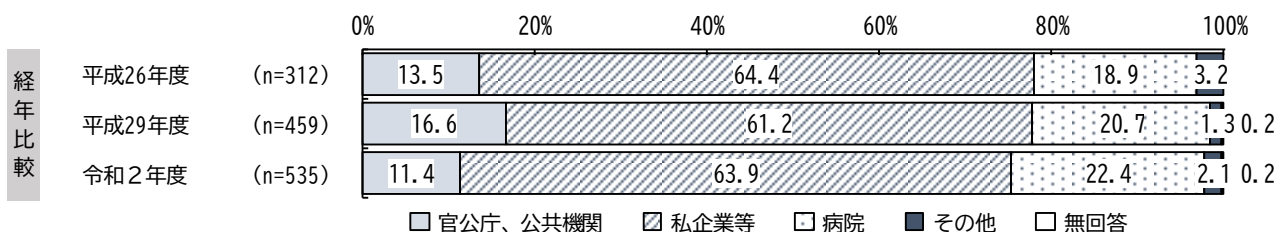
表 現在の状況

	平成26年度		平成29年度		令和2年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
正規雇用の従業員	312	90.4	439	85.9	514	90.2
起業	1	0.3	4	0.8	4	0.7
非正規雇用の従業員	14	4.1	16	3.1	17	3.0
家業に従事	3	0.9	-	-	-	-
大学院生など他の学生	6	1.7	39	7.6	9	1.6
公務員・教員採用試験等の準備	1	0.3	1	0.2	-	-
家事・育児に専従	6	1.7	1	0.2	2	0.4
家族の介護に専従	-	-	-	-	-	-
無職で仕事を探していた	-	-	-	-	2	0.4
無職で特に何もしていなかった	-	-	2	0.4	2	0.4
その他	-	-	2	0.4	-	-
無回答	2	0.6	7	1.4	20	3.5
調査数	345	100.0	511	100.0	570	100.0

### 現在の勤務先

現在の勤務先について尋ねたところ、「民間企業」、「非営利組織（NPO、NGO）」、「自営（起業・家業等）」を合算した「私企業等」63.9%が最も多く、次いで「病院」22.4%である。

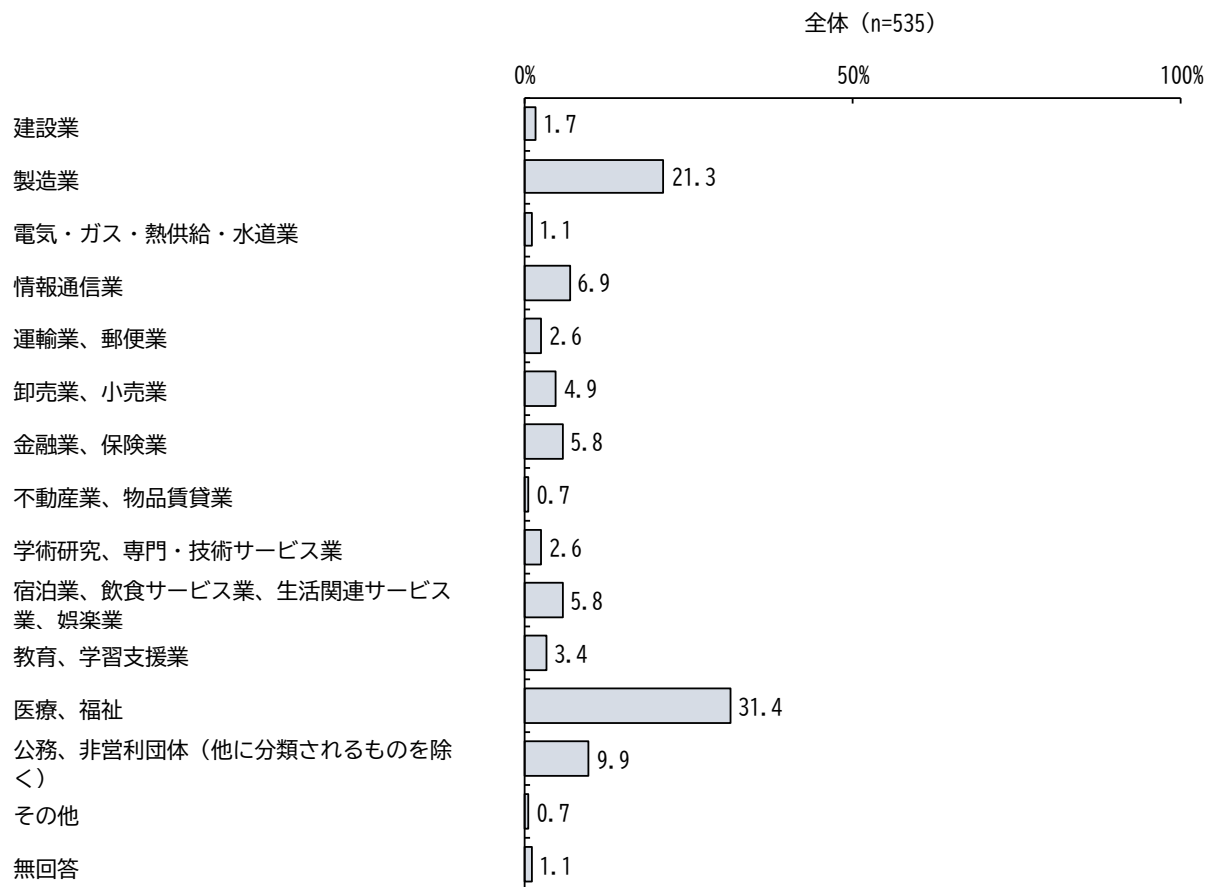
図 現在の勤務先



## 勤務先の業種

勤務先の業種について尋ねたところ、「医療、福祉」31.4%が最も多く、次いで「製造業」21.3%である。

図 勤務先の業種



## 現在の勤務先の所在地

現在の勤務先の所在地について尋ねたところ、「静岡県」61.5%が最も多くなっている。

表 現在の勤務先の所在地

所在地	回答数	パーセント
北海道	2	0.4
青森県	2	0.4
岩手県	-	-
宮城県	3	0.6
秋田県	-	-
山形県	-	-
福島県	-	-
茨城県	8	1.5
栃木県	2	0.4
群馬県	1	0.2
埼玉県	4	0.7
千葉県	6	1.1
東京都	66	12.3
神奈川県	18	3.4
新潟県	1	0.2
富山県	-	-
石川県	1	0.2

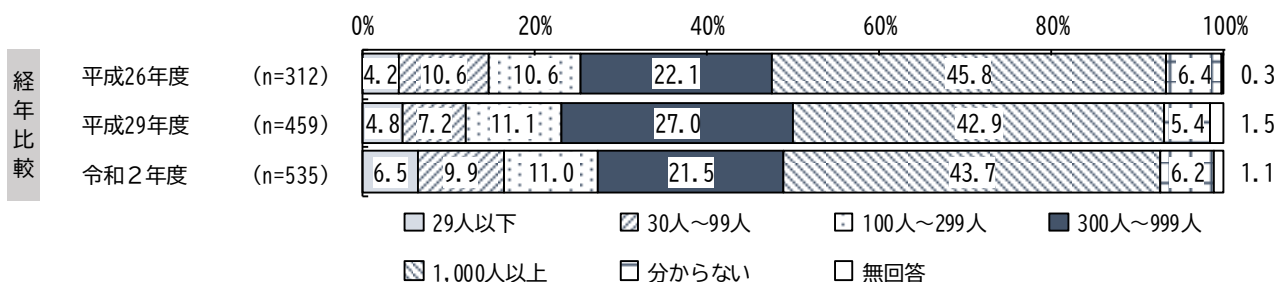
所在地	回答数	パーセント
福井県	2	0.4
山梨県	3	0.6
長野県	3	0.6
岐阜県	5	0.9
静岡県	329	61.5
愛知県	34	6.4
三重県	2	0.4
滋賀県	1	0.2
京都府	5	0.9
大阪府	16	3.0
兵庫県	-	-
奈良県	2	0.4
和歌山県	1	0.2
鳥取県	-	-
島根県	-	-
岡山県	2	0.4
広島県	1	0.2

所在地	回答数	パーセント
山口県	1	0.2
徳島県	-	-
香川県	-	-
愛媛県	1	0.2
高知県	1	0.2
福岡県	1	0.2
佐賀県	-	-
長崎県	-	-
熊本県	1	0.2
大分県	1	0.2
宮崎県	2	0.4
鹿児島県	-	-
沖縄県	-	-
海外	-	-
無回答	7	1.3
調査数	535	100.0

## 現在の勤務先の従業員規模

現在の勤務先の従業員規模について尋ねたところ、「1,000人以上」43.7%が最も多く、次いで「300人～999人」21.5%である。

図 現在の勤務先の従業員規模



正規雇用の従業員の現在の勤務先の従業員規模について尋ねたところ、「1,000人以上」45.1%が最も多く、次いで「300人～999人」22.2%である。

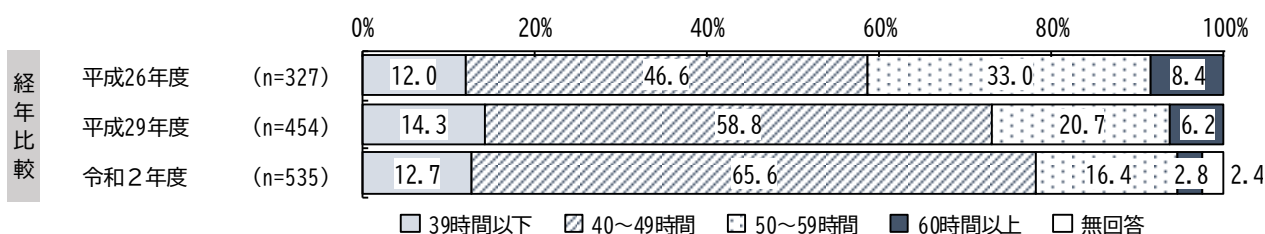
なお、「正規雇用の従業員」の場合、従業員規模が大きいほど勤務している割合が多くなる傾向は、平成26年度、平成29年度と同様である。

表 正規雇用の従業員の現在の勤務先の従業員規模

	平成26年度		平成29年度		令和2年度	
	回答数	パーセント	回答数	パーセント	回答数	パーセント
29人以下	11	3.4	14	3.2	28	5.4
30人～99人	24	7.5	30	6.8	46	8.9
100人～299人	48	15.0	49	11.2	59	11.5
300人～999人	88	27.5	121	27.6	114	22.2
1,000人以上	130	40.6	195	44.4	232	45.1
分からない	17	5.3	23	5.2	29	5.6
無回答	2	0.6	7	1.6	6	1.2
調査数	320	100.0	439	100.0	514	100.0

## 現在の1週間の平均労働時間

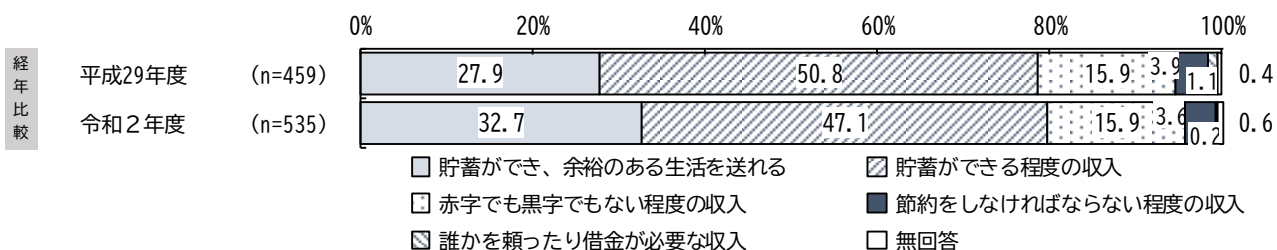
現在の1週間の平均労働時間について尋ねたところ、「40～50時間未満」65.6%が最も多くなっている。



## 現在の収入

現在の収入状況について尋ねたところ、「貯蓄ができる程度の収入」47.1%が最も多く、次いで「貯蓄ができ、余裕のある生活を送れる」32.7%である。平成29年度と比較すると、「貯蓄ができる程度の収入」が3.7ポイント減少しているが、「貯蓄ができ、余裕のある生活を送れる」が4.8ポイント増加している。

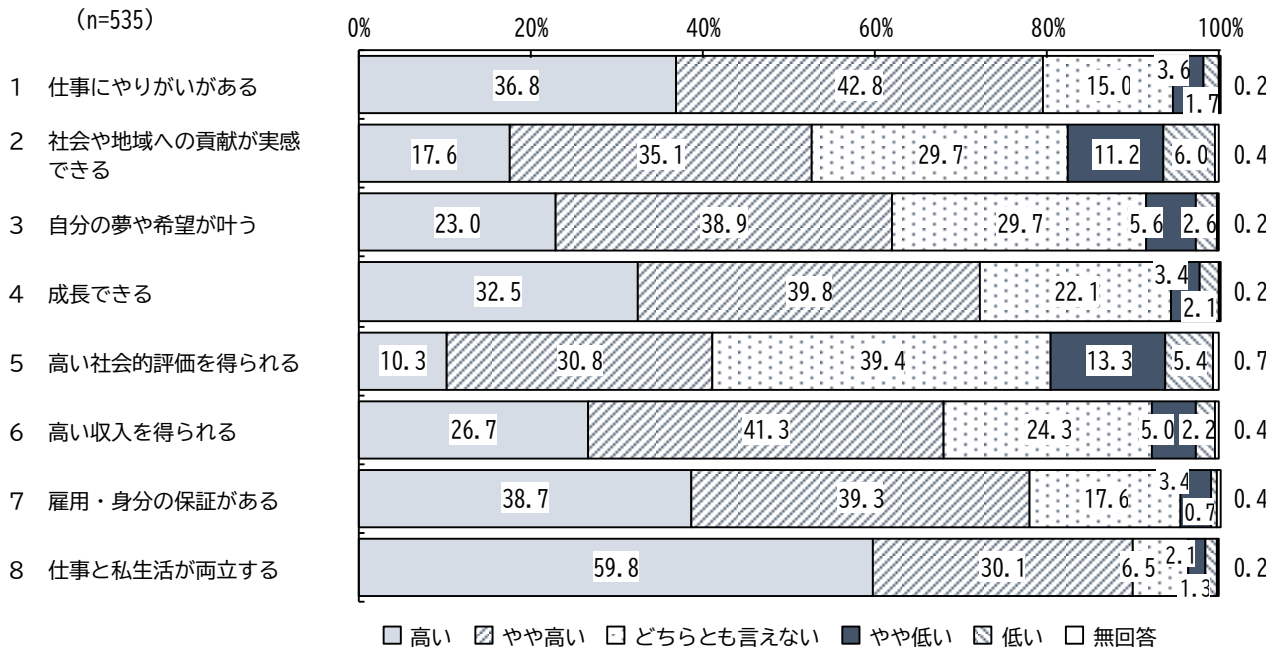
図 現在の収入



## 働き方の重要度・満足度

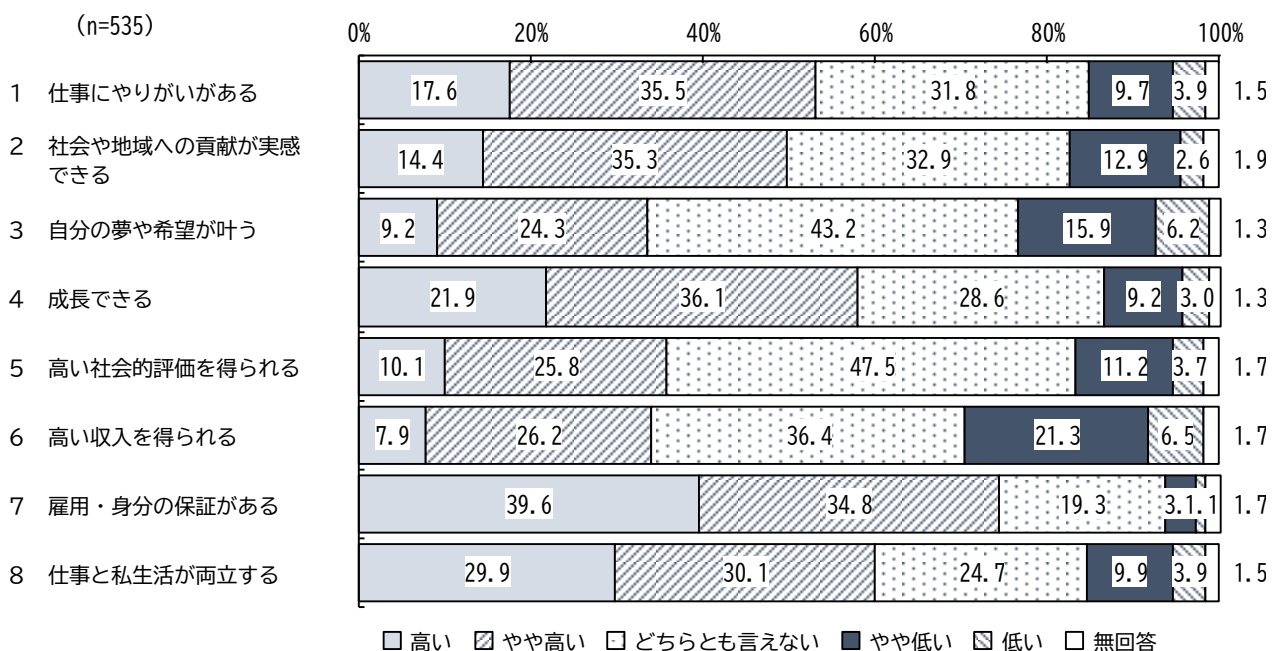
様々な働き方や働く理由に対して、その重要度について「1」を「高い」、「5」を「低い」とする5段階評価での評価をそれぞれ尋ねたところ、「高い」が最も多い項目は「8 仕事と私生活が両立する」59.8%で、次いで「7 雇用・身分の保証がある」38.7%、「1 仕事にやりがいがある」36.8%の順である

図 働き方の重要度（5段階評価）



様々な働き方や働く理由に対して、その満足度について「1」を「高い」、「5」を「低い」とする5段階評価での評価をそれぞれ尋ねたところ、「高い」が最も多い項目は「7 雇用・身分の保証がある」39.6%で、次いで「8 仕事と私生活が両立する」29.9%、「成長できる」21.9%の順である

図 働き方の満足度（5段階評価）



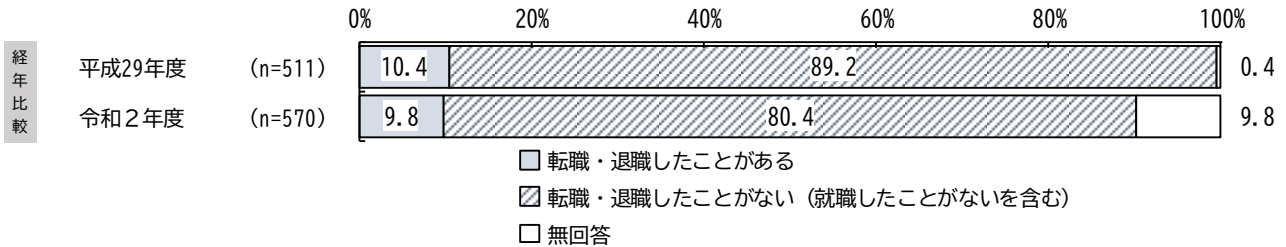


## 5 大学卒業後の働き方の変化について

### 卒業後の転職・退職有無（非正規も含む）

正規・非正規問わず、転職・退職の有無について尋ねたところ、「転職・退職したことがない（就職したことがないを含む）」80.4%が最も多くなっている。

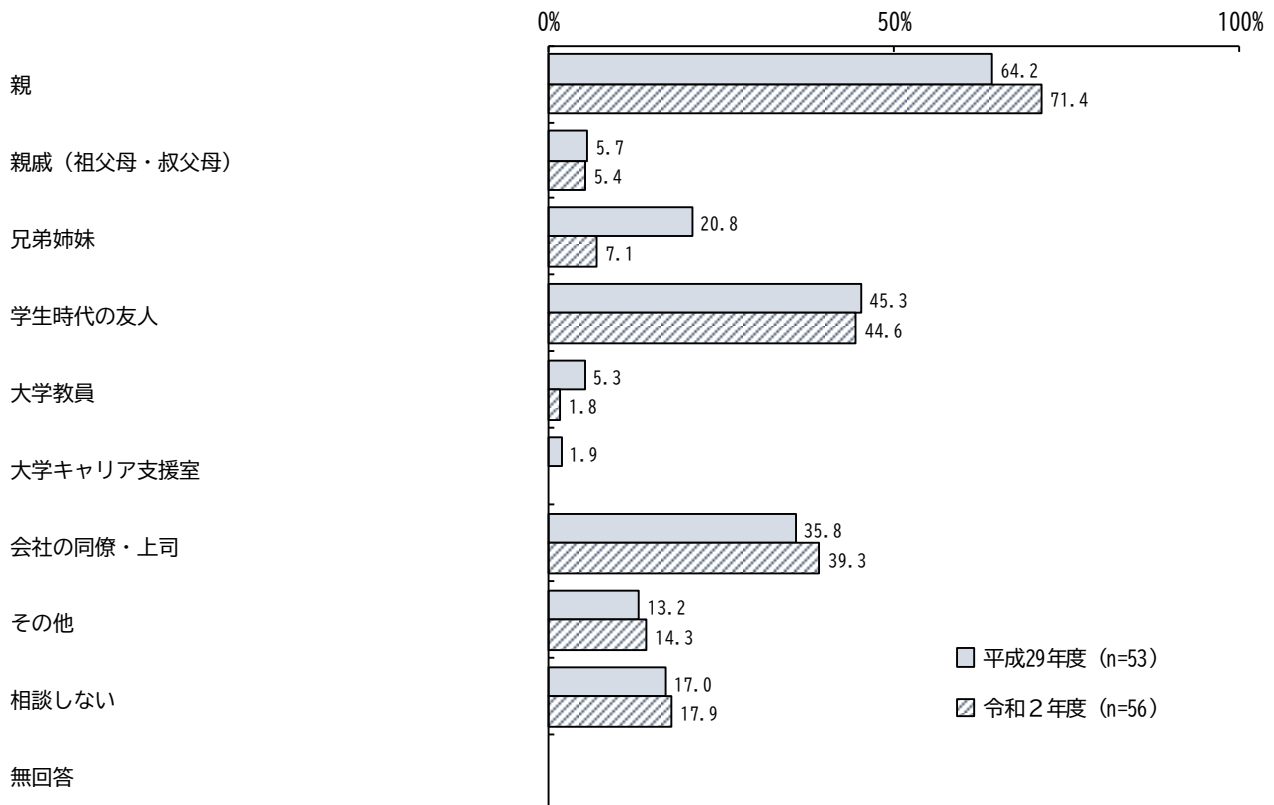
図 卒業後の転職・退職有無（非正規も含む）



### 転職・退職しようとした際の相談相手

転職・退職しようとした際、誰に相談したかについて尋ねたところ、「親」71.4%が最も多く、次いで「学生時代の友人」44.6%、「会社の同僚・上司」39.3%の順である。また、平成29年度と比較すると「兄弟姉妹」が13.7ポイント減少している。

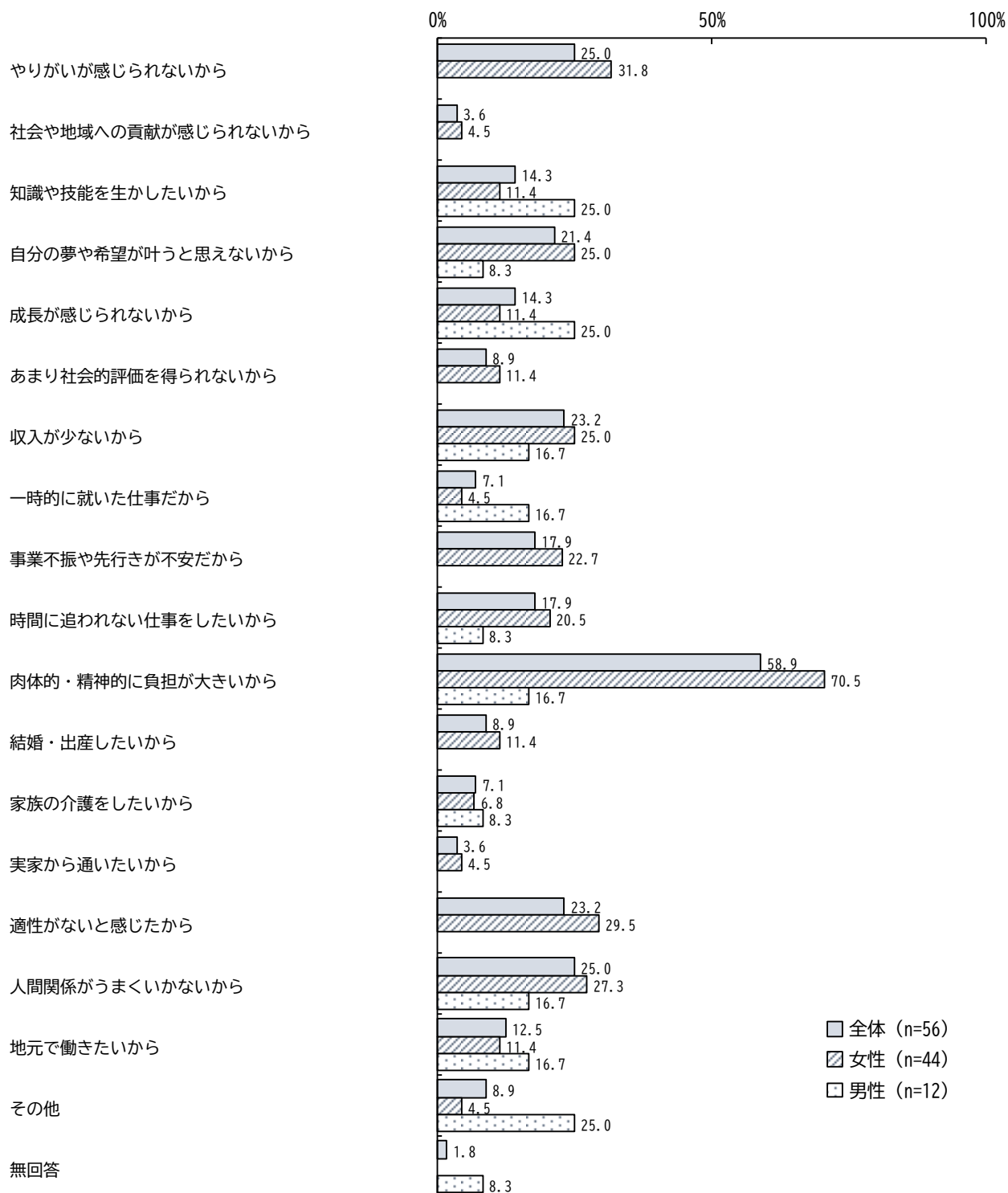
図 転職・退職しようとした際の相談相手



## 転職・退職した理由

転職・退職した理由について尋ねたところ、「肉体的・精神的に負担が大きいから」58.9%が最も多く、次いで「やりがいを感じられないから」25.0%、「人間関係がうまくいかないから」25.0%、「収入が少ないから」23.2%、「適性がないと感じたから」23.2%の順である。

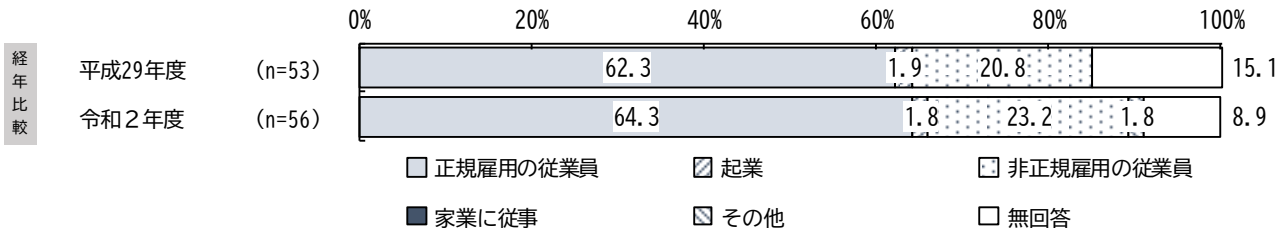
図 転職・退職した理由



### 卒業後二番目の勤務先の雇用形態

卒業後二番目の勤務先の雇用形態について尋ねたところ、「正規雇用の従業員」64.3%が最も多く、次いで「非正規雇用の従業員」23.2%である。

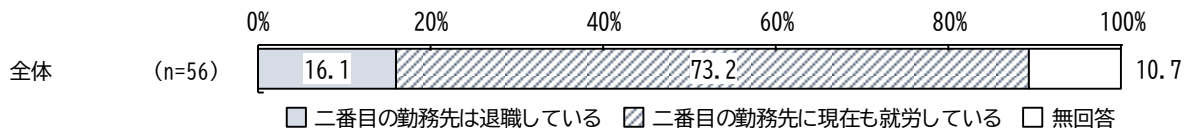
図 卒業後二番目の勤務先の雇用形態



### 卒業後二番目の勤務先の就労状況

卒業後二番目の勤務先の就労期間について尋ねたところ、「二番目の勤務先に現在も就労している」73.2%が最も多くなっている。

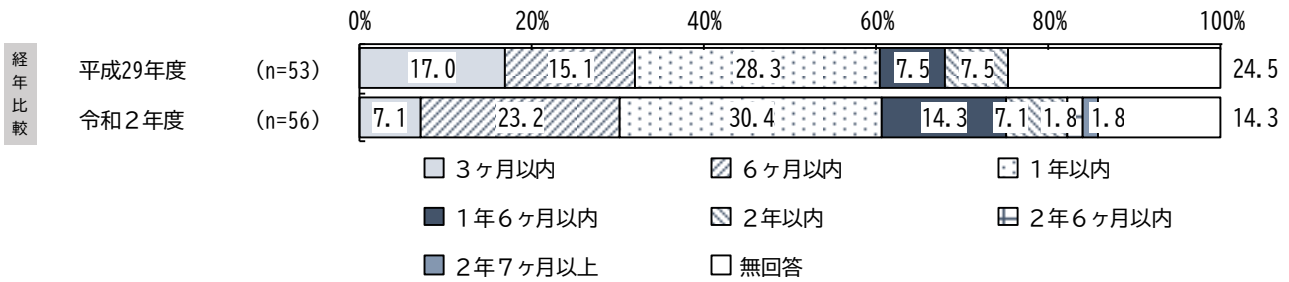
図 卒業後二番目の勤務先の就労状況



### 卒業後二番目の勤務先の就労期間

卒業後二番目の勤務先の就労期間について尋ねたところ、「1年以内」30.4%が最も多く、次いで「6ヶ月以内」23.2%である。

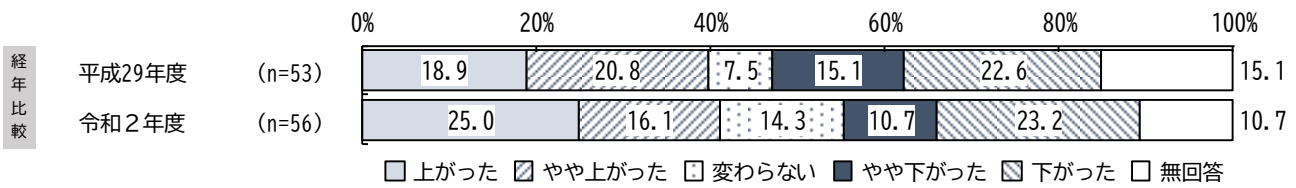
図 卒業後二番目の勤務先の就労期間



### 卒業後二番目の勤務先に転職しての収入の変化

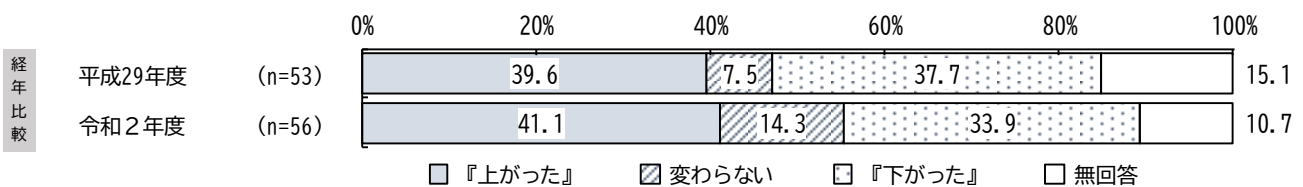
卒業後二番目の勤務先に転職してからの収入の変化（5段階評価）について尋ねたところ、「上がった」25.0%が最も多く、次いで「下がった」23.2%である。

図 卒業後二番目の勤務先に転職しての収入の変化（5段階評価）



卒業後二番目の勤務先に転職してからの収入の変化（3段階評価）について尋ねたところ、「上がった」、「やや上がった」を合算した『上がった』41.1%が最も多く、次いで「やや下がった」、「下がった」を合算した『下がった』33.9%である。

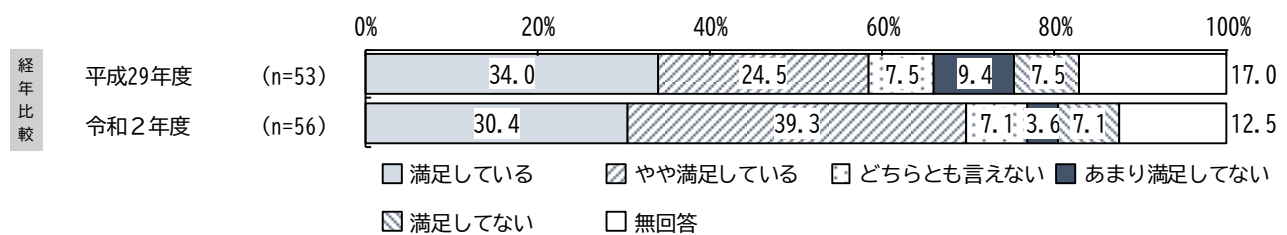
図 卒業後二番目の勤務先に転職しての収入の変化（3段階評価）



### 卒業後二番目の勤務先の満足度

卒業後二番目の勤務先への満足度について尋ねたところ、「やや満足している」39.3%が最も多く、次いで「満足している」30.4%である。

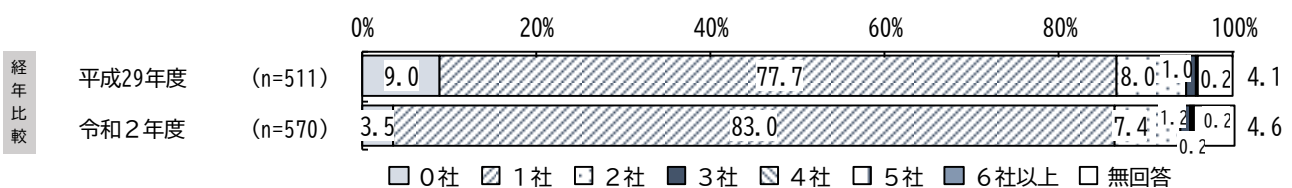
図 卒業後二番目の勤務先の満足度



### 卒業後からこれまでに勤務した企業数（公務員、自営を含む）

卒業後からこれまで勤務した企業数について尋ねたところ、「1社」83.0%が最も多くなっている。

図 卒業後からこれまでに勤務した企業数（公務員、自営を含む）

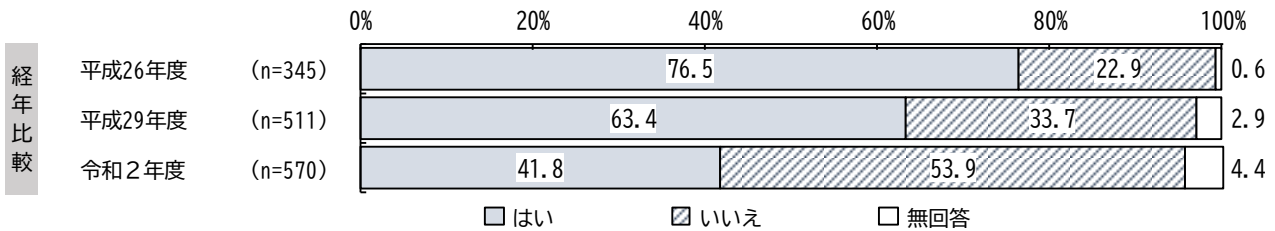


## 6 卒業後の本学とのつながりについて

### 卒業後の本学への訪問有無

卒業後の本学への訪問有無について尋ねたところ、「いいえ」53.9%が最も多くなっている。また、本学を訪問する卒業生は年々減少している。

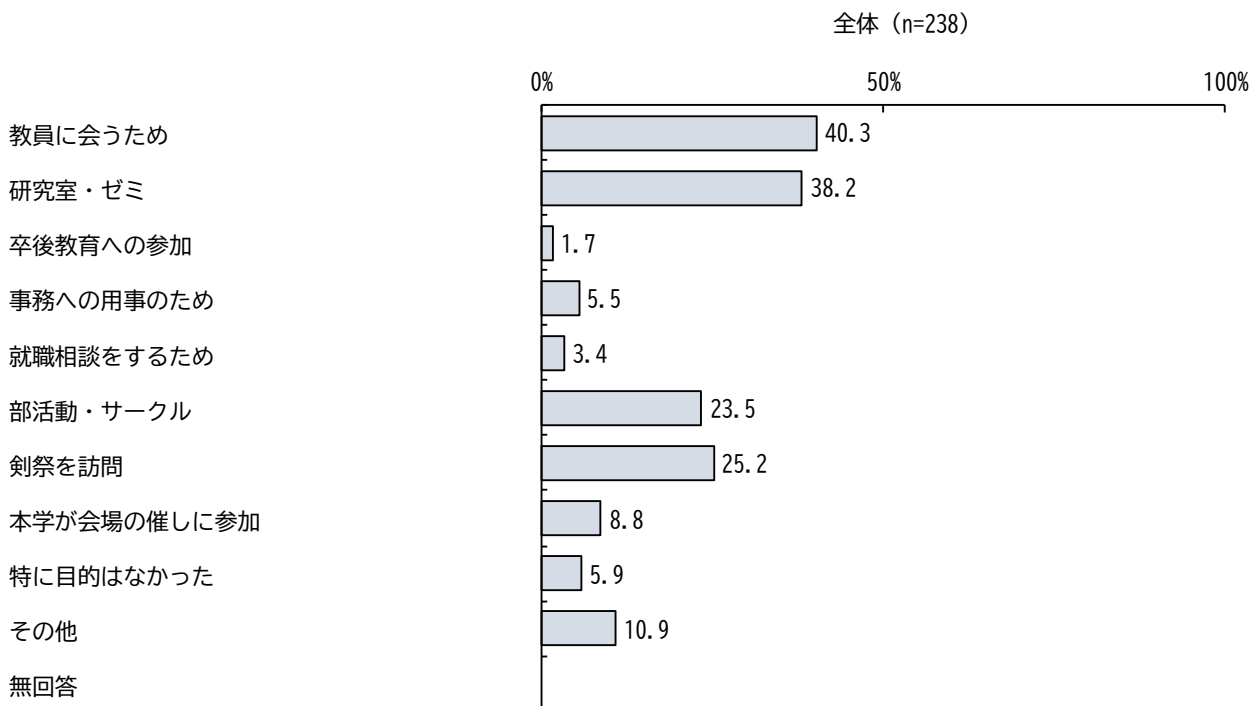
図 卒業後の本学への訪問有無



### 本学への訪問目的

本学への訪問目的について尋ねたところ、「教員に会うため」40.3%が最も多く、次いで「研究室・ゼミ」38.2%、「剣祭を訪問」25.2%、「部活動・サークル」23.5%の順である。

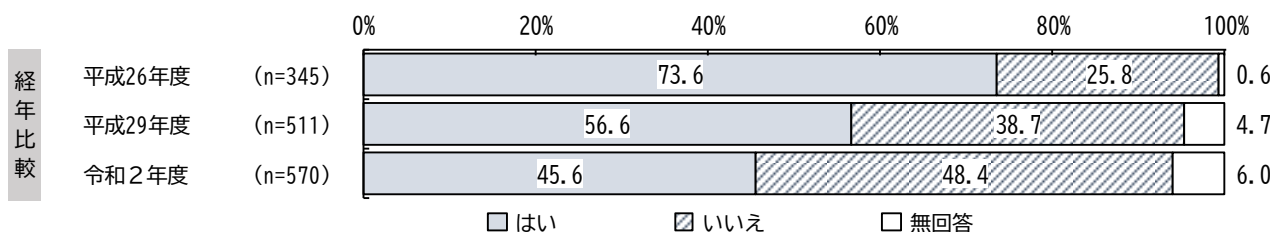
図 本学への訪問目的



## 卒業後に本学の教員との連絡有無

卒業後に本学の教員との連絡有無について尋ねたところ、「いいえ」48.4%が最も多くなっている。また、本学の教員と連絡する卒業生は年々減少している。

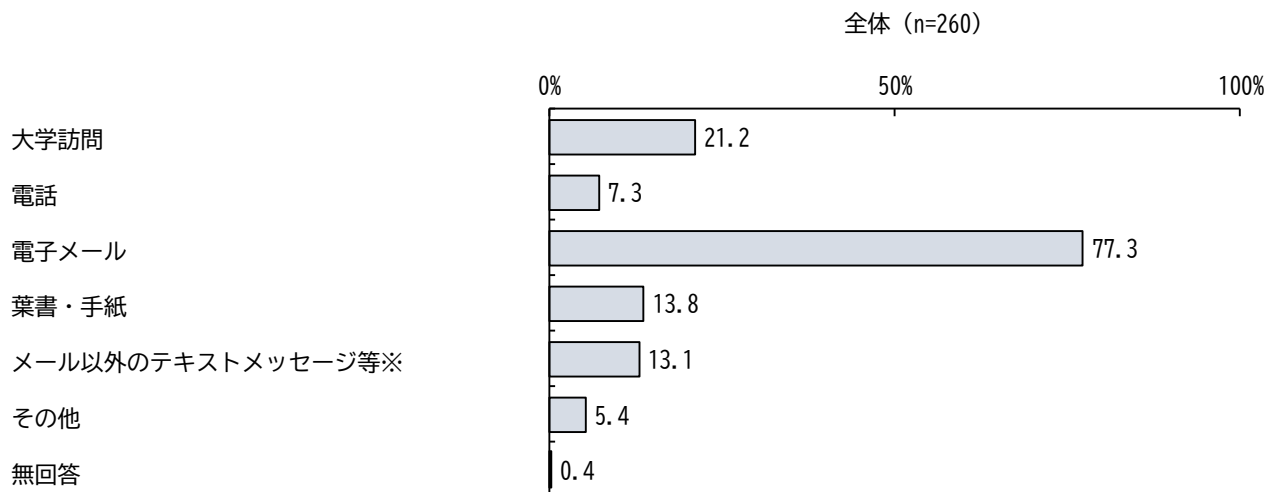
図 卒業後に本学の教員との連絡有無



## 本学の教員との連絡手段

連絡方法について尋ねたところ、「電子メール」77.3%が最も多く、次いで「大学訪問」21.2%である。

図 本学の教員との連絡手段

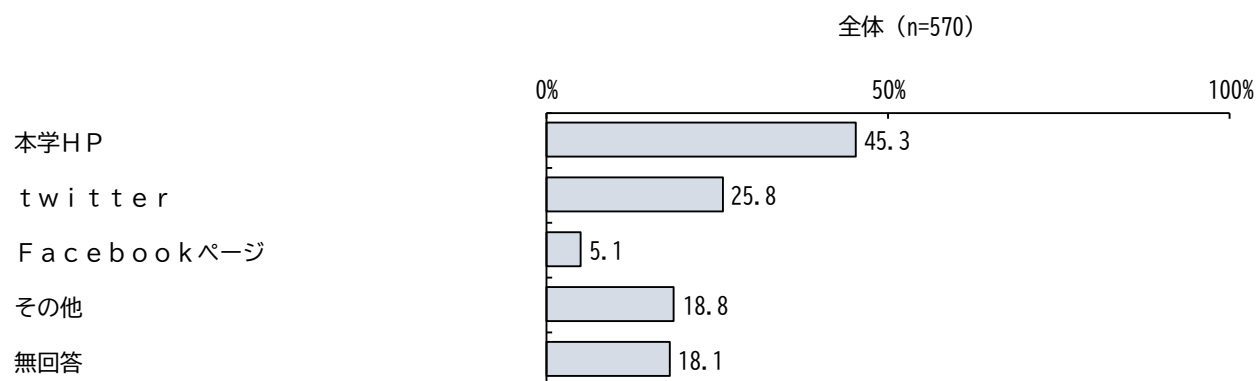


※「メール以外のテキストメッセージ等」は「その他」で「LINE」、「Facebook」、「SNS」等と記入した回答者を合算したものである。

## 本学の情報の入手方法

本学の情報を得る方法について尋ねたところ、「本学HP」45.3%が最も多く、次いで「twitter」25.8%である。

図 本学の情報の入手方法



## 7 本学在学生に向けて、卒業生として伝えたいことについて

### OB・OG懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力の可否

後輩のための協力意向について尋ねたところ、「いいえ」51.8%が最も多くなっている。

図 OB・OG懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力の可否



### 働くということについて気づいたこと

「働くことについて気づいたこと」について自由記述形式で尋ねると、全体として職務を遂行する上での心構え、就労を継続していくことに関して重要なポイントが多かった。

職務を遂行する上での心構えとしては、「責任（責任感）」という語について語られることが多かった。「お金」、「伴う」や「実感」と結びつくことが多く、お金をもらって働くことの責任の大きさ、常に責任が伴うことを実感した、という回答があった。また「責任（責任感）」は「学生」、「社会人」や「行動」などの語とともに語られることも多く、学生時代との責任に大きさの違いを実感した、自身の行動に責任を持つようになった、という回答があった。

これら以外にも「勉強」と「経験」が結びついていることが多く、社会人として学ぶこと重要性、学生時代に様々な経験することの重要性を実感した、という回答があった。

就労を継続していくことについては、「人間関係」や「やりがい」という語について語られることが多く、職場や取引先において仕事を円滑に進めるためにコミュニケーションを図ることの重要性、やりがいを持って仕事をする、という回答があった。また「人間関係」と「やりがい」がともに語られているときは、やりがいよりも人間関係を重要視した方がよいという意見があり、人間関係の方がより重要度が高いことが見受けられた。

これら以外にも「時間」などの語について語られることも多く、時間の使い方を意識することが重要、という回答があった。

20件ほど労働環境（仕事内容、給与面など）や時間の無さなどの現在不満に感じていることについて言及する回答もあった。

### そのほかにも、後輩に伝えたいと思っていること

「後輩に伝えたいと思っていること」について自由記述形式で尋ねると、回答は、大学時代にやっておいた方が良く、就職活動の中で実践する方が良く、社会人生活についての三つに大別できた。

大学時代にやっておいた方が良く、こととしては、「勉強」、「興味」や「経験」という語について語られることが多く、資格の勉強をした方が良く、興味が出たものをやった方が良く、を含めて様々な経験をすることを促す回答があった。また、これらの語とともに「時間」という語について語られることが多く、「社会人になると『時間』がない」とともに言及する回答があった。

就職活動の中で実践する方が良く、こととしては、「企業」、「良い」が結びついていることが多く、自身の専門分野外も含めた広い視野で企業研究すると良く、企業を見る際は良い点悪い点を確認した方が良く、という回答があった。

社会人生活については、「転職」や「仕事」という語について語られることが多く、業務内容が合わなければ転職も視野に入れておくべき、仕事を円滑に進めるためには人間関係が重要、という回答があった。



## 8 新型コロナウイルスの影響について

### 新型コロナウイルスの影響による収入の変化

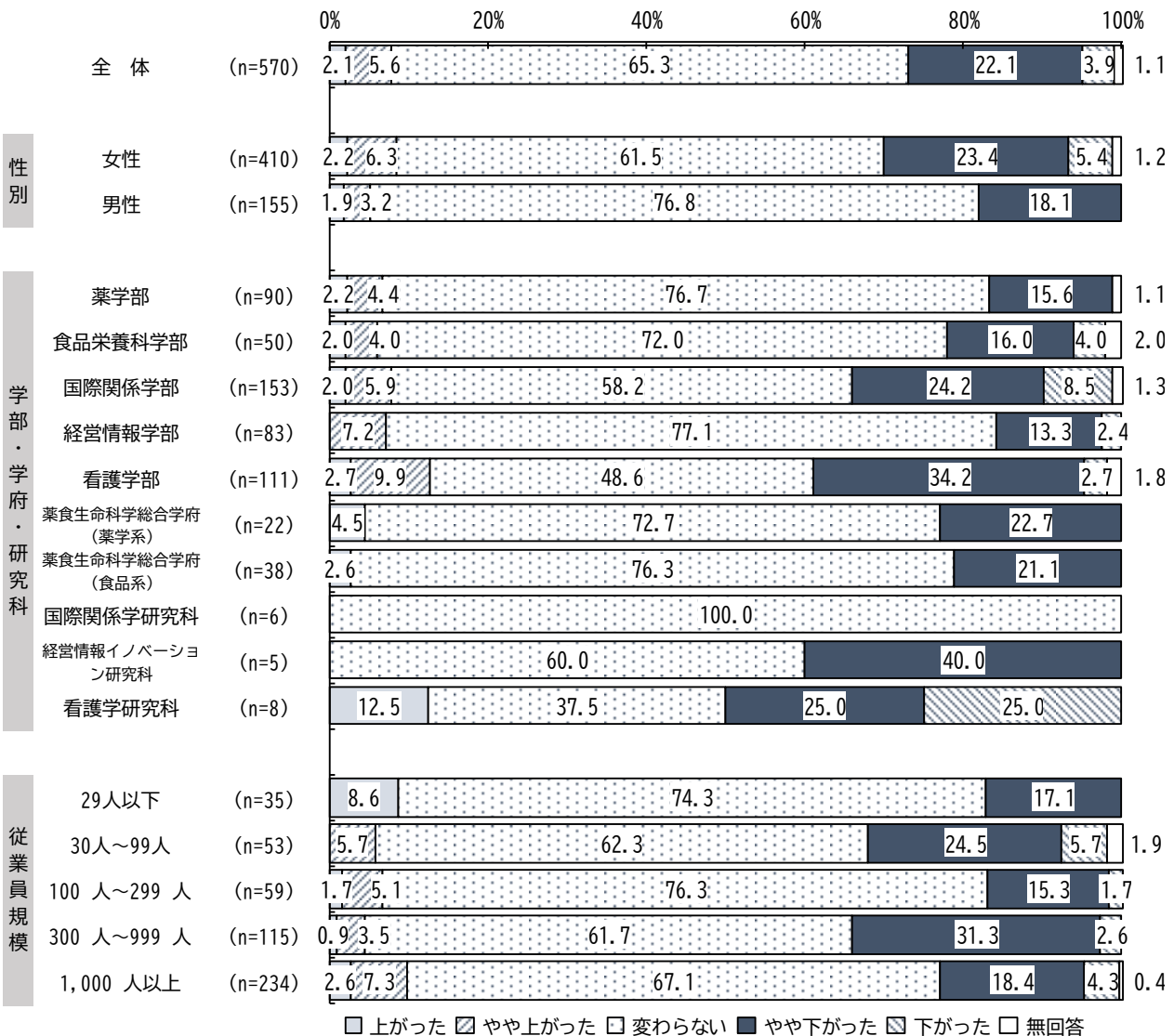
新型コロナウイルスの影響による収入の変化について尋ねたところ、「変わらない」65.3%が最も多く、以下「やや下がった」22.1%である。

性別でみると、男性は、「変わらない」76.8%が全体と比較して多くなっている。

学部・学府・研究科別でみると、薬学部は、「変わらない」76.7%が全体と比較して多くなっている。経営情報学部は、「変わらない」77.1%が全体と比較して多くなっている。看護学部は、「やや下がった」34.2%が全体と比較して多くなっています。薬食生命科学総合学府（食品系）は、「変わらない」76.3%が全体と比較して多くなっている。

現在の勤務先の従業員規模別でみると、100人～299人は、「変わらない」76.3%が全体と比較して多くなっている。

図 新型コロナウイルスの影響による収入の変化

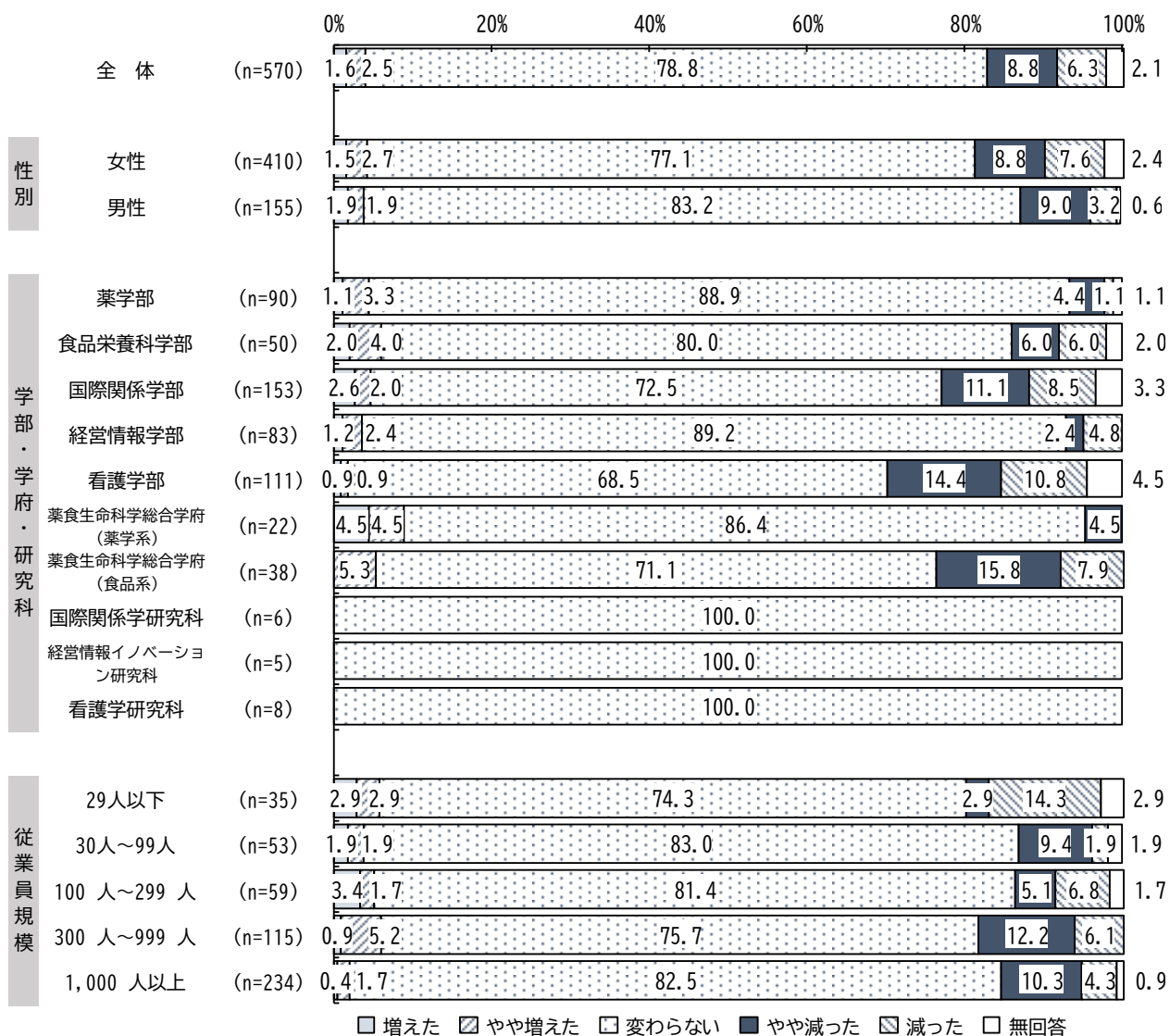


## 新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化

新型コロナウイルスの影響で勤務先の人員の増減について尋ねたところ、「変わらない」78.8%が最も多くなっている。

学部・学府・研究科別で見ると、薬学部は、「変わらない」88.9%が全体と比較して多くなっている。経営情報学部は、「変わらない」89.2%が全体と比較して多くなっている。

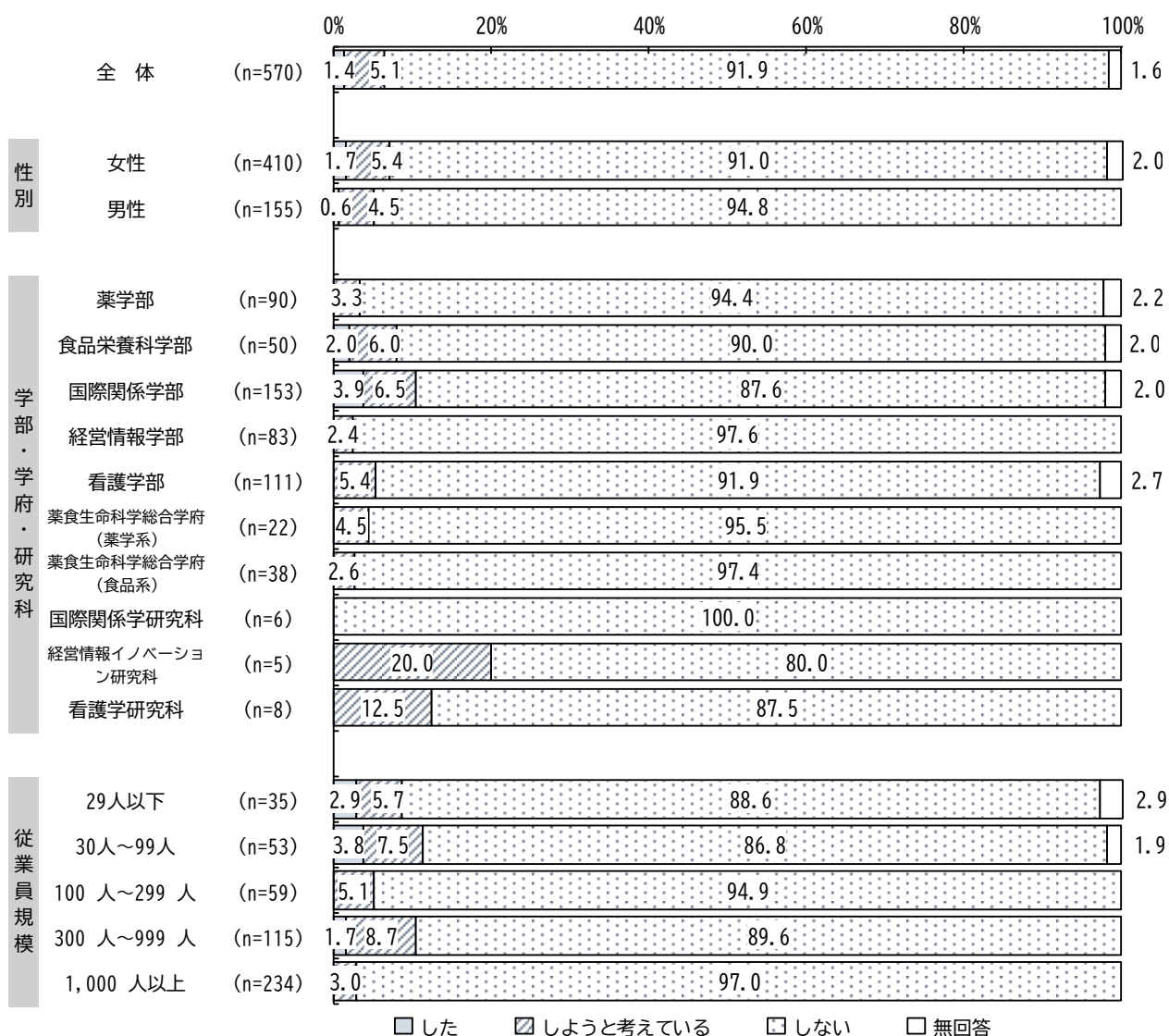
図 新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化



## 新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無

新型コロナウイルスの影響で転職・退職有無について尋ねたところ、「しない」91.9%が最も多くなっている。

図 新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無



□ した    ▨ しようと考えている    □ しない    □ 無回答

## 新型コロナウイルスの影響による転職・退職した、または検討している具体的な理由

「新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無」の質問に「した（8人）」、「しようと考えている（29人）」と回答した37人に「新型コロナウイルスの影響による転職・退職した具体的な理由」について自由記述形式で尋ねたところ、29人が回答し、その内容は不安・不満に関する回答が多かった。

不安・不満の理由としては、「給与」という語について語られることが多かった。新型コロナウイルスの影響により勤務時間が減少し、それに伴い給与が減少した、という人が見受けられた。特に、非正規雇用者である場合には、働きたくても働けなくなったという回答もあり、不安定な環境に置かれていることが分かる。

これ以外にも「仕事」や「職場」という語について語られることが多く、待遇への不満、将来性のなさから仕事を変えようと思っていたところで新型コロナウイルスが流行し、いきりかきだと思った、と言及する回答が複数あった。類似した回答として、新型コロナウイルスの流行が、会社や業界の不安定さ、ワークライフバランスや仕事のやりがいの重要性等の気づきのきっかけとなった回答があった。

新型コロナウイルス単独の問題ではなく、それ以前からの雇用条件や就労環境が原因であり、新型コロナウイルスの流行がきっかけとなって、転職・退職を企図するに至った、またはそれらの問題点が顕在化した、と言える。

また、転職・退職者が一人もない看護学部・看護学研究科の卒業生の場合でも、新型コロナウイルスの流行を原因とする身心の負担から転職・退職をしようと考えているという回答があった。その中でも、収入が減った上に差別を受けているという具体的な苦境についての回答があった。業務量によって疲弊するだけではなく、差別を生み出しやすい社会環境が原因となって転職・退職を企図するに至っている。

## 新型コロナウイルスの影響による職場の環境や処遇の変化

「新型コロナウイルスによる職場の環境や処遇への影響」について自由記述形式で尋ねると、勤務形態や仕事量と給与に関する回答が多かった。

勤務形態への影響としては、「リモートワーク」や「在宅勤務」という語について語られることが多かった。「導入」、「増加」や「開始」と結びつくことが多く、職場に出勤せずに働く人の増加が見受けられた。また、「研修」という語は「リモート」、もしくは「中止」が結びつくことが多く、最初の研修が中止のため技術の習得が例年より遅れているという回答や、業務内容を覚えるのに苦労したという回答があった。その他、「コミュニケーション」という語について語られることも多く、職場でのコミュニケーション機会の減少に言及する回答が複数あった。

仕事量への影響としては、「仕事」と「減少」、「増加」が共に結びついており、職種や会社によって影響の大きさが異なることが見受けられた。また、収入への影響については、「給料」・「ボーナス」と「変化」・「減少」が結びついていることが多く、仕事の減少から給与やボーナスが減少したという回答がある一方、変化していないという回答も多かった。その他、看護師として働く人への影響として、「コロナ専用病棟」という語について語られることが多く、専用病棟がつくられ新型コロナウイルス患者を受け入れることになったというだけではなく、専用病棟に順番に派遣されるため、一般病棟の人材不足が目立つようになったという回答があった。新型コロナウイルスによって家計だけではなく、人間関係や教育を受ける機会に影響があることが懸念される。また、直接新型コロナウイルスに対応しなくとも、看護師全般が人手不足の中で就労していた可能性がある。

## 4 付録



## 4 付録

### I 概括集計結果

#### B 3 卒業直後の自身の状況

調査数	進学者	正規雇用者	非正規雇用者	その他	無回答
570	12	513	15	10	20
100.0	2.1	90.0	2.6	1.8	3.5

#### B 8 卒業後最初の勤務先に満足度

調査数	『満足』	どちらとも言えない	『不満』	無回答
538	400	69	68	1
100.0	74.3	12.8	12.6	0.2

**D 1 正規・非正規問わず、転職・退職の有無**

**B 4 卒業後の就職有無（非正規も含む）**

	調査数	転職・退職したことがある	転職・退職したことがない (就職したことがないを含む)	無回答
全体	570 100.0	56 9.8	458 80.4	56 9.8
就職したことがある	538 100	55 10.2	429 79.7	54 10

**3年以内離職率（卒業年度別クロス）**

	調査数	ある	ない	無回答
全体	538 100	55 10.2	429 79.7	54 10
平成 29 年度	158 100	24 15.2	119 75.3	15 9.5
平成 30 年度	198 100	24 12.1	156 78.8	18 9.1
平成 31 年度	180 100	7 3.9	152 84.4	21 11.7

**D 6 卒業後二番目の勤務先に転職してからの収入の変化有無**

調査数	『収入が増えた』	『収入が減った』	変わらない	無回答
56 100.0	23 41.1	19 33.9	8 14.3	6 10.7



### D 7 卒業後二番目の勤務先への満足度

調査数	『満足』	『不満』	どちらとも言えない	無回答
56	39	6	4	7
100.0	69.6	10.7	7.1	12.5

### C 1 現在の状況

調査数	進学者	正規雇用者	非正規雇用者	その他	無回答
570	9	518	17	6	20
100.0	1.6	90.9	3.0	1.1	3.5

### F 3 現在の通勤・通学時間

	調査数	平均
全体	560 100	30.66
通勤時間	531 94.8	30.96
通学時間	8 1.4	18.75

**C 5 現在の1週間の平均労働時間（社会生活基本調査基準）**

調査数	3 9 時間 以下	4 0 ～ 4 8 時間	4 9 ～ 5 9 時間	6 0 時間 以上
522	68	350	89	15
100.0	13.0	67.0	17.0	2.9

**C 5 現在の1週間の平均労働時間**

調査数	3 9 時間 以下	4 0 ～ 4 9 時間	5 0 ～ 5 9 時間	6 0 時間 以上	無 回 答
535	68	351	88	15	13
100.0	12.7	65.6	16.4	2.8	2.4

## C7 働き方の重要度・満足度

### (A) あなたにとっての重要度

	調査数	高い	やや高い	どちらとも言えない	やや低い	低い	無回答
1 仕事にやりがいがある	535 100.0	197 36.8	229 42.8	80 15.0	19 3.6	9 1.7	1 0.2
2 社会や地域への貢献が実感できる	535 100.0	94 17.6	188 35.1	159 29.7	60 11.2	32 6.0	2 0.4
3 自分の夢や希望が叶う	535 100.0	123 23.0	208 38.9	159 29.7	30 5.6	14 2.6	1 0.2
4 成長できる	535 100.0	174 32.5	213 39.8	118 22.1	18 3.4	11 2.1	1 0.2
5 高い社会的評価を得られる	535 100.0	55 10.3	165 30.8	211 39.4	71 13.3	29 5.4	4 0.7
6 高い収入を得られる	535 100.0	143 26.7	221 41.3	130 24.3	27 5.0	12 2.2	2 0.4
7 雇用・身分の保証がある	535 100.0	207 38.7	210 39.3	94 17.6	18 3.4	4 0.7	2 0.4
8 仕事と私生活が両立する	535 100.0	320 59.8	161 30.1	35 6.5	11 2.1	7 1.3	1 0.2

(B) 現在の仕事の満足度

	調査数	高い	やや高い	どちらとも 言えない	やや低い	低い	無回答
1 仕事にやりがいがある	535 100.0	94 17.6	190 35.5	170 31.8	52 9.7	21 3.9	8 1.5
2 社会や地域への貢献が実感できる	535 100.0	77 14.4	189 35.3	176 32.9	69 12.9	14 2.6	10 1.9
3 自分の夢や希望が叶う	535 100.0	49 9.2	130 24.3	231 43.2	85 15.9	33 6.2	7 1.3
4 成長できる	535 100.0	117 21.9	193 36.1	153 28.6	49 9.2	16 3.0	7 1.3
5 高い社会的評価を得られる	535 100.0	54 10.1	138 25.8	254 47.5	60 11.2	20 3.7	9 1.7
6 高い収入を得られる	535 100.0	42 7.9	140 26.2	195 36.4	114 21.3	35 6.5	9 1.7
7 雇用・身分の保証がある	535 100.0	212 39.6	186 34.8	103 19.3	19 3.6	6 1.1	9 1.7
8 仕事と私生活が両立する	535 100.0	160 29.9	161 30.1	132 24.7	53 9.9	21 3.9	8 1.5

## 2 調査結果集計結果（単純集計）

A1 本学を卒業されたのは、いつですか。あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

※大学院を卒業されている方は、大学院を卒業した時期をお答えください。

調査数	平成29年9月	平成30年3月	平成30年9月	平成31年3月	令和元年9月	令和2年3月	無回答
570	0	165	5	203	3	192	2
100.0	0.0	28.9	0.9	35.6	0.5	33.7	0.4

A2 卒業された学部・大学院はどちらですか。あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

※大学院を卒業されている方は、大学院の学府・研究科のみをお答えください。

調査数	薬学部	食品栄養科学部	国際関係学部	経営情報学部	看護学部	薬食生命科学総合学府（薬学系）	薬食生命科学総合学府（食品系）	国際関係学研究所	経営情報イノベーション研究科	看護学研究科	無回答
570	90	50	153	83	111	22	38	6	5	8	4
100.0	15.8	8.8	26.8	14.6	19.5	3.9	6.7	1.1	0.9	1.4	0.7

**A 3 大学で、講義やゼミ等にはどのように参加していましたか。**

調査数	積極的に参加した	やや積極的に参加した	どちらとも言えない	やや消極的な参加だった	消極的な参加だった	無回答
570	278	200	55	27	9	1
100.0	48.8	35.1	9.6	4.7	1.6	0.2

**A 4 大学主催の就職支援講座等にはどのように参加していましたか。**

調査数	積極的に参加した	やや積極的に参加した	どちらとも言えない	やや消極的な参加だった	消極的な参加だった	無回答
570	68	190	97	73	140	2
100.0	11.9	33.3	17	12.8	24.6	0.4

**B 1 本学の就職活動支援は十分でしたか。それぞれあてはまる数字に○をつけてください。**

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
1 現実の問題・課題に関連した授業	570	48	152	233	84	22	31
	100.0	8.4	26.7	40.9	14.7	3.9	5.4
2 授業以外で教員と接触する機会	570	67	109	225	96	42	31
	100.0	11.8	19.1	39.5	16.8	7.4	5.4
3 就職指導の体制	570	44	123	260	84	27	32
	100.0	7.7	21.6	45.6	14.7	4.7	5.6
4 企業実習（インターンシップ）の機会	570	39	112	246	101	39	33
	100.0	6.8	19.6	43.2	17.7	6.8	5.8
5 学業等への経済的支援の提供	570	32	74	311	89	31	33
	100.0	5.6	13	54.6	15.6	5.4	5.8

**B 2 本学卒業にあたり就職活動（公務員試験、教員採用試験等の受験を含む）をしましたか。**

※大学院を卒業された方は、大学院卒業時についてのみお答えください。

調査数	はい	いいえ	無回答
570	520	31	19
100.0	91.2	5.4	3.3

**B 2 - 1 どのような就職活動を行いましたか。**

調査数	民間企業等への就職活動	公務員試験、教員採用試験等の受験	両方とも行った	無回答
520	410	45	65	0
100.0	78.8	8.7	12.5	0.0

**B 2 - 2 就職活動をせず、どうされましたか。**

調査数	就職活動なしで就職	卒業前の仕事を継続	事業を始めた（自営業）	大学院その他へ進学	進学・就職なし	その他	無回答
31	6	8	2	8	2	1	4
100.0	19.4	25.8	6.5	25.8	6.5	3.2	12.9

**B 3 本学卒業直後はどのような状況でしたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。**

調査数	正規雇用	起業	非正規雇用	家業従事	大学院など進学	公務員など試験準備	家事・育児に専従	家族の介護に専従	無職で職探し	無職で何もしていない	その他	無回答
570	511	2	15	0	12	2	0	0	3	3	2	20
100.0	89.6	0.4	2.6	0.0	2.1	0.4	0.0	0.0	0.5	0.5	0.4	3.5

**B 3 本学卒業直後はどのような状況でしたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。(4区分)**

調査数	進学者	正規雇用者	非正規雇用者	その他	無回答
570	12	513	15	10	20
100.0	2.1	90.0	2.6	1.8	3.5

**B 4 本学卒業後、正規・非正規問わず、就職をしたことはありますか。**

調査数	就職したことがある	就職したことがない	無回答
570	538	19	13
100.0	94.4	3.3	2.3



**B 5 本学卒業後最初の勤務先の雇用形態はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。**

調査数	正規雇用	起業	非正規雇用	家業に従事	その他	無回答
538	516	2	18	0	0	2
100.0	95.9	0.4	3.3	0.0	0.0	0.4

**B 6 本学卒業後最初の勤務先の所在地はどこですか。**

調査数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
538	2	2	0	4	0	0	0	7	2	1	6	6	67
100.0	0.4	0.4	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	1.3	0.4	0.2	1.1	1.1	12.5

神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
21	1	0	1	1	5	2	3	323	34	4	1	8	16
3.9	0.2	0.0	0.2	0.2	0.9	0.4	0.6	60.0	6.3	0.7	0.2	1.5	3.0

兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県
0	3	1	0	0	2	1	1	0	0	1	2	1	0
0.0	0.6	0.2	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.4	0.2	0.0

長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外	無回答
0	1	1	2	0	0	0	5
0.0	0.2	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.9

**B 7 本学卒業後最初の勤務先の就労期間はいつからいつまでですか。**

調査数	3ヶ月以内	6ヶ月以内	1年以内	1年6ヶ月以内	2年以内	2年6ヶ月以内	2年7ヶ月以上	無回答
538	9	9	202	7	169	5	125	12
100.0	1.7	1.7	37.5	1.3	31.4	0.9	23.2	2.2

**B 8 総合的に考えて、本学卒業後最初の勤務先に満足していましたか、あるいは、満足していますか。**

あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	満足していない	無回答
538	209	191	69	33	35	1
100.0	38.8	35.5	12.8	6.1	6.5	0.2

**C 1 現在、どのように過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。**

調査数	正規雇用	起業	非正規雇用	家業従事	大学院等進学	公務員など試験準備	家事・育児に専従	家族の介護に専従	無職で職探し	無職で特に何もしていない	その他	無回答
570	514	4	17	0	9	0	2	0	2	2	0	20
100.0	90.2	0.7	3.0	0.0	1.6	0.0	0.4	0.0	0.4	0.4	0.0	3.5

C2 現在の勤務先はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

調査数	官公庁、公共機関	民間企業	病院	非営利組織	自営（起業・家業等）	その他	無回答
535	61	333	120	5	4	11	1
100.0	11.4	62.2	22.4	0.9	0.7	2.1	0.2

C2-1 業種についてあてはまるものに1つ○をつけてください。

調査数	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業
535	9	114	6	37	14	26	31	4	14	31	18
100.0	1.7	21.3	1.1	6.9	2.6	4.9	5.8	0.7	2.6	5.8	3.4

医療、福祉	公務、非営利団体 （他に分類されるものを除く）	その他	無回答
168	53	4	6
31.4	9.9	0.7	1.1

C3 現在の勤務先の所在地はどこですか。

調査数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
535	2	2	0	3	0	0	0	8	2	1	4	6	66
100.0	0.4	0.4	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.5	0.4	0.2	0.7	1.1	12.3

神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
18	1	0	1	2	3	3	5	329	34	2	1	5	16
3.4	0.2	0.0	0.2	0.4	0.6	0.6	0.9	61.5	6.4	0.4	0.2	0.9	3.0

兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県
0	2	1	0	0	2	1	1	0	0	1	1	1	0
0.0	0.4	0.2	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0

長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外	無回答
0	1	1	2	0	0	0	7
0.0	0.2	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	1.3

**C 4 現在の勤務先の従業員規模はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。**

調査数	29人以下	30人～99人	100人～299人	300人～999人	1,000人以上	分からない	無回答
535	35	53	59	115	234	33	6
100.0	6.5	9.9	11.0	21.5	43.7	6.2	1.1

**C 5 (10時間ごと分類)現在の1週間の平均労働時間はどのくらいですか。時間数をご記入ください。**

調査数	40時間未満	40～50時間未満	50～60時間未満	60時間以上	無回答
535	68	351	88	15	13
100.0	12.7	65.6	16.4	2.8	2.4

**C 6 現在、どの程度の収入を得ていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。**

調査数	貯蓄ができて、余裕のある生活を送れる	貯蓄ができる程度の収入	赤字でも黒字でもない程度の収入	節約をしなければならない程度の収入	誰かを頼ったり借金が必要な収入	無回答
535	175	252	85	19	1	3
100.0	32.7	47.1	15.9	3.6	0.2	0.6

C7 働き方や働く理由は様々ですが、(A) あなたにとってどの程度重要ですか、(B) 現在の仕事でどの程度満足できていますか。それぞれあてはまる数字に○をつけてください。

(A) あなたにとっての重要度

	調査数	高い	やや高い	どちらとも言えない	やや低い	低い	無回答
1 仕事にやりがいがある	535 100.0	197 36.8	229 42.8	80 15.0	19 3.6	9 1.7	1 0.2
2 社会や地域への貢献が実感できる	535 100.0	94 17.6	188 35.1	159 29.7	60 11.2	32 6.0	2 0.4
3 自分の夢や希望が叶う	535 100.0	123 23.0	208 38.9	159 29.7	30 5.6	14 2.6	1 0.2
4 成長できる	535 100.0	174 32.5	213 39.8	118 22.1	18 3.4	11 2.1	1 0.2
5 高い社会的評価を得られる	535 100.0	55 10.3	165 30.8	211 39.4	71 13.3	29 5.4	4 0.7
6 高い収入を得られる	535 100.0	143 26.7	221 41.3	130 24.3	27 5.0	12 2.2	2 0.4
7 雇用・身分の保証がある	535 100.0	207 38.7	210 39.3	94 17.6	18 3.4	4 0.7	2 0.4
8 仕事と私生活が両立する	535 100.0	320 59.8	161 30.1	35 6.5	11 2.1	7 1.3	1 0.2

(B) 現在の仕事の満足度

	調査数	高い	やや高い	どちらとも 言えない	やや低い	低い	無回答
1 仕事にやりがいがある	535 100.0	94 17.6	190 35.5	170 31.8	52 9.7	21 3.9	8 1.5
2 社会や地域への貢献が実感できる	535 100.0	77 14.4	189 35.3	176 32.9	69 12.9	14 2.6	10 1.9
3 自分の夢や希望が叶う	535 100.0	49 9.2	130 24.3	231 43.2	85 15.9	33 6.2	7 1.3
4 成長できる	535 100.0	117 21.9	193 36.1	153 28.6	49 9.2	16 3.0	7 1.3
5 高い社会的評価を得られる	535 100.0	54 10.1	138 25.8	254 47.5	60 11.2	20 3.7	9 1.7
6 高い収入を得られる	535 100.0	42 7.9	140 26.2	195 36.4	114 21.3	35 6.5	9 1.7
7 雇用・身分の保証がある	535 100.0	212 39.6	186 34.8	103 19.3	19 3.6	6 1.1	9 1.7
8 仕事と私生活が両立する	535 100.0	160 29.9	161 30.1	132 24.7	53 9.9	21 3.9	8 1.5

**D1 本学卒業後、正規・非正規問わず、転職・退職したことはありますか。**

調査数	ある	ない (就職したことがないを含む)	無回答
570 100.0	56 9.8	458 80.4	56 9.8

**D2 転職・退職しようとした際、誰に相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。**

調査数	親	親戚	兄弟姉妹	学生時代の友人	大学教員	大学キャリア支援室	会社の同僚・上司	その他	相談しない	無回答
56 100.0	40 71.4	3 5.4	4 7.1	25 44.6	1 1.8	0 0.0	22 39.3	8 14.3	10 17.9	0 0.0



D3 転職・退職した理由はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	やりがいを感じられないから	社会や地域への貢献を感じられないから	知識や技能を生かしたいから	自分の夢や希望が叶うと思えないから	成長を感じられないから	あまり社会的評価を得られないから	収入が少ないから	一時的に就いた仕事だから	事業不振や先行きが不安だから	時間に追われない仕事をしたいから	肉体的・精神的に負担が大きいため	結婚・出産したいから	家族の介護をしたいから
56 100.0	14 25.0	2 3.6	8 14.3	12 21.4	8 14.3	5 8.9	13 23.2	4 7.1	10 17.9	10 17.9	33 58.9	5 8.9	4 7.1

実家から通いたいから	適性がないと感じたから	人間関係がうまくいかないから	地元で働きたいから	その他	無回答
2 3.6	13 23.2	14 25.0	7 12.5	5 8.9	1 1.8

D 4 本学卒業後二番目の勤務先の雇用形態はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

※転職したことのある方のみ、お答えください。

調査数	正規雇	起業	非正規雇用	家業に従事	その他	無回答
56	36	1	13	0	1	5
100.0	64.3	1.8	23.2	0.0	1.8	8.9

D 5 本学卒業後二番目の勤務先の就労期間はいつからいつまでですか。

※転職したことのある方のみ、お答えください。

調査数	3ヶ月以内	6ヶ月以内	1年以内	1年6ヶ月以内	2年以内	2年6ヶ月以内	2年7ヶ月以上	無回答
56	4	13	17	8	4	1	1	8
100.0	7.1	23.2	30.4	14.3	7.1	1.8	1.8	14.3

D 6 本学卒業後二番目の勤務先に転職して収入は上がりましたか。

※転職したことのある方のみ、お答えください。

調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
56	14	9	8	6	13	6
100.0	25.0	16.1	14.3	10.7	23.2	10.7

D7 総合的に考えて本学卒業後二番目の勤務先に満足していましたか、あるいは満足していますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。※転職したことのある方のみ、お答えください。

調査数	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	あまり満足してない	満足してない	無回答
56	17	22	4	2	4	7
100.0	30.4	39.3	7.1	3.6	7.1	12.5

D8 本学卒業後からこれまで、いくつの企業等（公務員、自営を含む）で働きましたか。

※現在の勤務先、非正規で雇用された企業も数に含みます。

調査数	0社	1社	2社	3社	4社	5社	6社以上	無回答
570	20	473	42	7	1	0	1	26
100.0	3.5	83.0	7.4	1.2	0.2	0.0	0.2	4.6

E1 卒業後に本学を訪問したことがありますか。

調査数	はい	いいえ	無回答
570	238	307	25
100.0	41.8	53.9	4.4

E1-1 どのような目的で訪問しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	教員に会うため	研究室・ゼミ	卒業教育への参加	事務への用事のため	就職相談	部活動・サークル	剣祭を訪問	本学が会場の催し参加	目的なし	その他	無回答
238	96	91	4	13	8	56	60	21	14	26	0
100.0	40.3	38.2	1.7	5.5	3.4	23.5	25.2	8.8	5.9	10.9	0.0

E2 卒業後に本学の教員と連絡をとったことがありますか。

調査数	はい	いいえ	無回答
570	260	276	34
100.0	45.6	48.4	6.0

E2-1 どのように連絡をとられましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

調査数	大学訪問	電話	電子メール	葉書・手紙	メール以外の テキストメッセージ等	その他	無回答
260	55	19	201	36	34	14	1
100.0	21.2	7.3	77.3	13.8	13.1	5.4	0.4

**E 3 本学の情報をどこから入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。**

調査数	本学HP	t w i t t e r	F a c e b o o k ペ ー ジ	その他	無回答
570	258	147	29	107	103
100.0	45.3	25.8	5.1	18.8	18.1

**F 1 性別は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。**

調査数	女性	男性	その他	無回答
570	410	155	1	4
100.0	71.9	27.2	0.2	0.7

F 2 現在お住まいの都道府県をご記入ください。

調査数	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都
570	2	4	0	3	0	1	0	8	2	2	8	12	59
100.0	0.4	0.7	0.0	0.5	0.0	0.2	0.0	1.4	0.4	0.4	1.4	2.1	10.4

神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府
23	1	0	2	2	4	3	3	346	35	2	1	7	13
4.0	0.2	0.0	0.4	0.4	0.7	0.5	0.5	60.7	6.1	0.4	0.2	1.2	2.3

兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県
2	2	2	0	0	2	1	1	0	0	1	1	1	0
0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0

長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外	無回答
0	1	1	2	0	1	0	9
0.0	0.2	0.2	0.4	0.0	0.2	0.0	1.6

**F 3 現在の通勤・通学時間をご記入ください。**

調査数	15分以内	30分以内	45分以内	1時間以内	1時間30分以内	1時間31分以上	無回答
570	185	196	66	83	26	4	10
100	32.5	34.4	11.6	14.6	4.6	0.7	1.8

**F 4 大学卒業直前および現在、実家にお住まいでしたか、あるいはお住まいですか。それぞれの時期について、あてはまるもの1つに○をつけてください。**

**実家での居住有無（大学卒業直前）**

調査数	はい	いいえ	無回答
570	278	285	7
100.0	48.8	50.0	1.2

**実家での居住有無（現在）**

調査数	はい	いいえ	無回答
570	199	362	9
100.0	34.9	63.5	1.6

**F 5 職業や生活を通して重要なことはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。**

調査数	仕事にやりがいを感じられること	仕事で知識や技能を生かせること	自分の成長が感じられること	高い収入が得られること	高い社会的評価を得られること	余暇の時間が得られること	地元で働けること	適性のある仕事に就けること	職場の人間関係がうまくいっていること	失業の心配がないこと	仕事で健康が損なわれないこと	家族関係が良好であること	介護など、家族の苦痛によりそうこと
570	382	232	318	294	72	415	108	280	429	220	366	245	45
100.0	67.0	40.7	55.8	51.6	12.6	72.8	18.9	49.1	75.3	38.6	64.2	43.0	7.9

友人と十分に交流できること	社会や地域に貢献できること	自分の夢や希望が叶うこと	その他	無回答
286	127	200	2	10
50.2	22.3	35.1	0.4	1.8

**G 1 OB・OG懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力することはできますか。**

調査数	はい	いいえ	無回答
570	246	295	29
100.0	43.2	51.8	5.1



**H1 新型コロナウイルスの影響で収入に変化がありましたか。**

調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
570	12	32	372	126	22	6
100.0	2.1	5.6	65.3	22.1	3.9	1.1

**H2 新型コロナウイルスの影響で勤務先の人員は増えましたか、減りましたか。**

調査数	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	無回答
570	9	14	449	50	36	12
100.0	1.6	2.5	78.8	8.8	6.3	2.1

**H3 新型コロナウイルスの影響で転職・退職をしましたか。**

調査数	した	しようと考えている	しない	無回答
570	8	29	524	9
100.0	1.4	5.1	91.9	1.6

### 3 調査結果集計結果（クロス集計）

#### B1 就職活動支援の評価（5段階評価） I 現実の問題・課題に関連した授業

##### A2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
全体	570 100.0	48 8.4	152 26.7	233 40.9	84 14.7	22 3.9	31 5.4
薬学部	90 100.0	6 6.7	13 14.4	40 44.4	18 20.0	6 6.7	7 7.8
食品栄養科学部	50 100.0	2 4.0	12 24.0	24 48.0	9 18.0	0 0.0	3 6.0
国際関係学部	153 100.0	14 9.2	34 22.2	65 42.5	24 15.7	8 5.2	8 5.2
経営情報学部	83 100.0	9 10.8	28 33.7	30 36.1	11 13.3	3 3.6	2 2.4
看護学部	111 100.0	13 11.7	37 33.3	38 34.2	16 14.4	2 1.8	5 4.5
薬食生命科学総合学府（薬学系）	22 100.0	0 0.0	11 50.0	7 31.8	3 13.6	1 4.5	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	38 100.0	2 5.3	11 28.9	19 50.0	2 5.3	2 5.3	2 5.3
国際関係学研究科	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	1 16.7
経営情報イノベーション研究科	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
看護学研究科	8 100.0	0 0.0	1 12.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0

**B 1 就職活動支援の評価（5段階評価） 2 授業以外で教員と接触する機会**

**A 2 卒業した学部・学府・研究科**

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
全体	570 100.0	67 11.8	109 19.1	225 39.5	96 16.8	42 7.4	31 5.4
薬学部	90 100.0	7 7.8	15 16.7	33 36.7	20 22.2	8 8.9	7 7.8
食品栄養科学部	50 100.0	11 22.0	11 22.0	22 44.0	3 6.0	0 0.0	3 6.0
国際関係学部	153 100.0	14 9.2	24 15.7	59 38.6	31 20.3	17 11.1	8 5.2
経営情報学部	83 100.0	8 9.6	14 16.9	32 38.6	20 24.1	7 8.4	2 2.4
看護学部	111 100.0	9 8.1	23 20.7	49 44.1	18 16.2	7 6.3	5 4.5
薬食生命科学総合学府（薬学系）	22 100.0	3 13.6	6 27.3	9 40.9	3 13.6	1 4.5	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	38 100.0	8 21.1	13 34.2	13 34.2	0 0.0	2 5.3	2 5.3
国際関係学研究科	6 100.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7
経営情報イノベーション研究科	5 100.0	3 60.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
看護学研究科	8 100.0	0 0.0	1 12.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0

B I 就職活動支援の評価（5段階評価） 3 就職指導の体制

A 2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
全体	570 100.0	44 7.7	123 21.6	260 45.6	84 14.7	27 4.7	32 5.6
薬学部	90 100.0	5 5.6	17 18.9	44 48.9	12 13.3	5 5.6	7 7.8
食品栄養科学部	50 100.0	3 6.0	13 26.0	23 46.0	7 14.0	1 2.0	3 6.0
国際関係学部	153 100.0	11 7.2	23 15.0	67 43.8	29 19.0	14 9.2	9 5.9
経営情報学部	83 100.0	8 9.6	23 27.7	35 42.2	11 13.3	4 4.8	2 2.4
看護学部	111 100.0	8 7.2	24 21.6	57 51.4	15 13.5	2 1.8	5 4.5
薬食生命科学総合学府（薬学系）	22 100.0	3 13.6	7 31.8	7 31.8	5 22.7	0 0.0	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	38 100.0	5 13.2	14 36.8	12 31.6	4 10.5	1 2.6	2 5.3
国際関係学研究科	6 100.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7
経営情報イノベーション研究科	5 100.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
看護学研究科	8 100.0	0 0.0	0 0.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0

**B 1 就職活動支援の評価（5段階評価） 4 企業実習（インターンシップ）の機会**

**A 2 卒業した学部・学府・研究科**

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
全体	570 100.0	39 6.8	112 19.6	246 43.2	101 17.7	39 6.8	33 5.8
薬学部	90 100.0	7 7.8	13 14.4	41 45.6	13 14.4	9 10.0	7 7.8
食品栄養科学部	50 100.0	5 10.0	11 22.0	22 44.0	6 12.0	2 4.0	4 8.0
国際関係学部	153 100.0	5 3.3	22 14.4	58 37.9	44 28.8	15 9.8	9 5.9
経営情報学部	83 100.0	5 6.0	20 24.1	33 39.8	17 20.5	6 7.2	2 2.4
看護学部	111 100.0	10 9.0	28 25.2	51 45.9	13 11.7	4 3.6	5 4.5
薬食生命科学総合学府（薬学系）	22 100.0	2 9.1	6 27.3	12 54.5	1 4.5	1 4.5	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	38 100.0	4 10.5	11 28.9	16 42.1	4 10.5	1 2.6	2 5.3
国際関係学研究科	6 100.0	0 0.0	1 16.7	3 50.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7
経営情報イノベーション研究科	5 100.0	1 20.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
看護学研究科	8 100.0	0 0.0	0 0.0	5 62.5	1 12.5	0 0.0	2 25.0

**B 1 就職活動支援の評価（5段階評価） 5 学業等への経済的支援の提供**

**A 2 卒業した学部・学府・研究科**

	調査数	十分	やや十分	どちらとも言えない	やや不十分	不十分	無回答
全体	570 100.0	32 5.6	74 13.0	311 54.6	89 15.6	31 5.4	33 5.8
薬学部	90 100.0	5 5.6	10 11.1	48 53.3	13 14.4	7 7.8	7 7.8
食品栄養科学部	50 100.0	1 2.0	4 8.0	30 60.0	10 20.0	2 4.0	3 6.0
国際関係学部	153 100.0	6 3.9	16 10.5	84 54.9	27 17.6	11 7.2	9 5.9
経営情報学部	83 100.0	5 6.0	12 14.5	45 54.2	13 15.7	5 6.0	3 3.6
看護学部	111 100.0	7 6.3	14 12.6	61 55.0	19 17.1	5 4.5	5 4.5
薬食生命科学総合学府（薬学系）	22 100.0	1 4.5	7 31.8	12 54.5	2 9.1	0 0.0	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	38 100.0	4 10.5	9 23.7	19 50.0	4 10.5	0 0.0	2 5.3
国際関係学研究科	6 100.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7
経営情報イノベーション研究科	5 100.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
看護学研究科	8 100.0	0 0.0	0 0.0	6 75.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0

**B 7 卒業後最初の勤務先の就労期間**

**A 1 本学を卒業した時期（3区分）**

	調査数	3ヶ月以内	6ヶ月以内	1年以内	1年6ヶ月以内	2年以内	2年6ヶ月以内	2年7ヶ月以上	無回答
全体	538 100.0	9 1.7	9 1.7	202 37.5	7 1.3	169 31.4	5 0.9	125 23.2	12 2.2
平成 29 年度	158 100.0	4 2.5	3 1.9	9 5.7	4 2.5	26 16.5	5 3.2	104 65.8	3 1.9
平成 30 年度	198 100.0	4 2.0	3 1.5	23 11.6	3 1.5	142 71.7	0 0.0	19 9.6	4 2.0
平成 31 年度	180 100.0	1 0.6	3 1.7	169 93.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.1	5 2.8

D3 転職・退職した理由

F1 性別

	調査数	やりがいを感じられないから	社会や地域貢献を感じられないから	知識や技能を生かしたいから	自分の夢や希望が叶うと思えないから	成長を感じられないから	社会的評価を得られないから	収入が少ないから	一時的に就いた仕事だから	事業不振や先行き不安だから
全体	56 100.0	14 25.0	2 3.6	8 14.3	12 21.4	8 14.3	5 8.9	13 23.2	4 7.1	10 17.9
女性	44 100.0	14 31.8	2 4.5	5 11.4	11 25.0	5 11.4	5 11.4	11 25.0	2 4.5	10 22.7
男性	12 100.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	1 8.3	3 25.0	0 0.0	2 16.7	2 16.7	0 0.0

時間に追われない仕事をしたいから	肉体的・精神的に負担が大きいから	結婚・出産したいから	家族の介護をしたいから	実家から通いたいから	適性がないと感じたから	人間関係がうまくいかないから	地元で働きたいから	その他	無回答
10 17.9	33 58.9	5 8.9	4 7.1	2 3.6	13 23.2	14 25.0	7 12.5	5 8.9	1 1.8
9 20.5	31 70.5	5 11.4	3 6.8	2 4.5	13 29.5	12 27.3	5 11.4	2 4.5	0 0.0
1 8.3	2 16.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	2 16.7	2 16.7	3 25.0	1 8.3



H I 新型コロナウイルスの影響による収入の変化

F I 性別

	調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
全体	570 100.0	12 2.1	32 5.6	372 65.3	126 22.1	22 3.9	6 1.1
女性	410 100.0	9 2.2	26 6.3	252 61.5	96 23.4	22 5.4	5 1.2
男性	155 100.0	3 1.9	5 3.2	119 76.8	28 18.1	0 0.0	0 0.0

# H1 新型コロナウイルスの影響による収入の変化

## A2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
全体	570 100.0	12 2.1	32 5.6	372 65.3	126 22.1	22 3.9	6 1.1
薬学部	90 100.0	2 2.2	4 4.4	69 76.7	14 15.6	0 0.0	1 1.1
食品栄養科学部	50 100.0	1 2.0	2 4.0	36 72.0	8 16.0	2 4.0	1 2.0
国際関係学部	153 100.0	3 2.0	9 5.9	89 58.2	37 24.2	13 8.5	2 1.3
経営情報学部	83 100.0	0 0.0	6 7.2	64 77.1	11 13.3	2 2.4	0 0.0
看護学部	111 100.0	3 2.7	11 9.9	54 48.6	38 34.2	3 2.7	2 1.8
薬食生命科学総合学府（薬学系）	22 100.0	1 4.5	0 0.0	16 72.7	5 22.7	0 0.0	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	38 100.0	1 2.6	0 0.0	29 76.3	8 21.1	0 0.0	0 0.0
国際関係学研究科	6 100.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
経営情報イノベーション研究科	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0
看護学研究科	8 100.0	1 12.5	0 0.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	0 0.0

# H I 新型コロナの影響による収入の変化

## C 2-1 勤務先の業種

	調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
全体	535 100.0	12 2.2	30 5.6	351 65.6	119 22.2	21 3.9	2 0.4
建設業	9 100.0	0 0.0	0 0.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0
製造業	114 100.0	3 2.6	2 1.8	86 75.4	21 18.4	2 1.8	0 0.0
電気・ガス・熱供給・水道業	6 100.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
情報通信業	37 100.0	0 0.0	3 8.1	31 83.8	3 8.1	0 0.0	0 0.0
運輸業、郵便業	14 100.0	0 0.0	1 7.1	6 42.9	2 14.3	5 35.7	0 0.0
卸売業、小売業	26 100.0	1 3.8	3 11.5	17 65.4	5 19.2	0 0.0	0 0.0
金融業、保険業	31 100.0	0 0.0	2 6.5	29 93.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
不動産業、物品賃貸業	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
学術研究、専門・技術サービス業	14 100.0	0 0.0	0 0.0	11 78.6	3 21.4	0 0.0	0 0.0
宿泊業、飲食サービス業、 生活関連サービス業、娯楽業	31 100.0	1 3.2	0 0.0	11 35.5	11 35.5	8 25.8	0 0.0
教育、学習支援業	18 100.0	0 0.0	0 0.0	9 50.0	8 44.4	1 5.6	0 0.0
医療、福祉	168 100.0	4 2.4	14 8.3	103 61.3	43 25.6	3 1.8	1 0.6
公務、非営利団体 (他に分類されるものを除く)	53 100.0	3 5.7	4 7.5	25 47.2	19 35.8	1 1.9	1 1.9
その他	4 100.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

# H I 新型コロナウイルスの影響による収入の変化

## C 4 現在の勤務先の従業員規模

	調査数	上がった	やや上がった	変わらない	やや下がった	下がった	無回答
全体	570 100.0	12 2.1	32 5.6	372 65.3	126 22.1	22 3.9	6 1.1
29人以下	35 100.0	3 8.6	0 0.0	26 74.3	6 17.1	0 0.0	0 0.0
30人~99人	53 100.0	0 0.0	3 5.7	33 62.3	13 24.5	3 5.7	1 1.9
100人~299人	59 100.0	1 1.7	3 5.1	45 76.3	9 15.3	1 1.7	0 0.0
300人~999人	115 100.0	1 0.9	4 3.5	71 61.7	36 31.3	3 2.6	0 0.0
1,000人以上	234 100.0	6 2.6	17 7.3	157 67.1	43 18.4	10 4.3	1 0.4
分からない	33 100.0	1 3.0	3 9.1	16 48.5	10 30.3	3 9.1	0 0.0

## H2 新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化

### F1 性別

	調査数	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	無回答
全体	570 100.0	9 1.6	14 2.5	449 78.8	50 8.8	36 6.3	12 2.1
女性	410 100.0	6 1.5	11 2.7	316 77.1	36 8.8	31 7.6	10 2.4
男性	155 100.0	3 1.9	3 1.9	129 83.2	14 9.0	5 3.2	1 0.6

## H2 新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化

### A2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	無回答
全体	570 100.0	9 1.6	14 2.5	449 78.8	50 8.8	36 6.3	12 2.1
薬学部	90 100.0	1 1.1	3 3.3	80 88.9	4 4.4	1 1.1	1 1.1
食品栄養科学部	50 100.0	1 2.0	2 4.0	40 80.0	3 6.0	3 6.0	1 2.0
国際関係学部	153 100.0	4 2.6	3 2.0	111 72.5	17 11.1	13 8.5	5 3.3
経営情報学部	83 100.0	1 1.2	2 2.4	74 89.2	2 2.4	4 4.8	0 0.0
看護学部	111 100.0	1 0.9	1 0.9	76 68.5	16 14.4	12 10.8	5 4.5
薬食生命科学総合学府（薬学系）	22 100.0	1 4.5	1 4.5	19 86.4	1 4.5	0 0.0	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	38 100.0	0 0.0	2 5.3	27 71.1	6 15.8	3 7.9	0 0.0
国際関係学研究科	6 100.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
経営情報イノベーション研究科	5 100.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
看護学研究科	8 100.0	0 0.0	0 0.0	8 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

## H2 新型コロナウイルスの影響による勤務先の人員の変化

### C4 現在の勤務先の従業員規模

	調査数	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った	無回答
全体	570 100.0	9 1.6	14 2.5	449 78.8	50 8.8	36 6.3	12 2.1
29人以下	35 100.0	1 2.9	1 2.9	26 74.3	1 2.9	5 14.3	1 2.9
30人~99人	53 100.0	1 1.9	1 1.9	44 83.0	5 9.4	1 1.9	1 1.9
100人~299人	59 100.0	2 3.4	1 1.7	48 81.4	3 5.1	4 6.8	1 1.7
300人~999人	115 100.0	1 0.9	6 5.2	87 75.7	14 12.2	7 6.1	0 0.0
1,000人以上	234 100.0	1 0.4	4 1.7	193 82.5	24 10.3	10 4.3	2 0.9
分からない	33 100.0	3 9.1	0 0.0	26 78.8	2 6.1	2 6.1	0 0.0

### H3 新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無

#### F1 性別

	調査数	した	しようと考えている	しない	無回答
全体	570 100.0	8 1.4	29 5.1	524 91.9	9 1.6
女性	410 100.0	7 1.7	22 5.4	373 91.0	8 2.0
男性	155 100.0	1 0.6	7 4.5	147 94.8	0 0.0



### H3 新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無

#### A2 卒業した学部・学府・研究科

	調査数	した	しようと考えている	しない	無回答
全体	570 100.0	8 1.4	29 5.1	524 91.9	9 1.6
薬学部	90 100.0	0 0.0	3 3.3	85 94.4	2 2.2
食品栄養科学部	50 100.0	1 2.0	3 6.0	45 90.0	1 2.0
国際関係学部	153 100.0	6 3.9	10 6.5	134 87.6	3 2.0
経営情報学部	83 100.0	0 0.0	2 2.4	81 97.6	0 0.0
看護学部	111 100.0	0 0.0	6 5.4	102 91.9	3 2.7
薬食生命科学総合学府（薬学系）	22 100.0	0 0.0	1 4.5	21 95.5	0 0.0
薬食生命科学総合学府（食品系）	38 100.0	0 0.0	1 2.6	37 97.4	0 0.0
国際関係学研究科	6 100.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	0 0.0
経営情報イノベーション研究科	5 100.0	0 0.0	1 20.0	4 80.0	0 0.0
看護学研究科	8 100.0	0 0.0	1 12.5	7 87.5	0 0.0

### H3 新型コロナウイルスの影響による転職・退職の有無

#### C4 現在の勤務先の従業員規模

	調査数	した	しようと考えている	しない	無回答
全体	570 100.0	8 1.4	29 5.1	524 91.9	9 1.6
29人以下	35 100.0	1 2.9	2 5.7	31 88.6	1 2.9
30人~99人	53 100.0	2 3.8	4 7.5	46 86.8	1 1.9
100人~299人	59 100.0	0 0.0	3 5.1	56 94.9	0 0.0
300人~999人	115 100.0	2 1.7	10 8.7	103 89.6	0 0.0
1,000人以上	234 100.0	0 0.0	7 3.0	227 97.0	0 0.0
分からない	33 100.0	1 3.0	2 6.1	30 90.9	0 0.0

## 静岡県立大学のキャリア・就職支援を 中心とした学生支援に関する卒業生調査

### 調査へのご協力をお願い

本学は、質の高い教育・研究を通して、社会に貢献する人材育成を目指してきました。“教育と学生生活の質を重視した環境整備”をさらに進めるために、自己評価・他者評価を実施しています。

この調査は、卒業生の皆様に、現在の状況や本学のキャリア・就職支援を中心とした学生支援についての評価をお尋ねすることによって、本学のキャリア・就職支援、学生支援のあり方を検討するための資料を得ることを目的として行うものです。

今回は、平成29年度（2017年度）から平成31年度（2019年度）の3年間に本学学部あるいは大学院博士前期課程（修士課程）を卒業された皆様全員にご協力をお願いしています。

この調査に際して、記名は必要ありません。いただいた回答は、数字入力され、統計的に処理されますので、個人が特定されたりすることはありません。調査の結果を上記の目的あるいは学術的な目的以外で利用することはありません。また、回収した調査票の保管には慎重を期し、一定期間経過後は、焼却あるいは溶解処分いたします。

この調査は、教育機関としての本学の質の向上を図るための大切な調査ですから、ご多忙のところを恐縮ですが、是非ともご協力をお願いいたします。

返送締切：令和3年1月19日（火）

### 【お問い合わせ先】

静岡県立大学 キャリア支援センター  
静岡県静岡市駿河区谷田 52 の 1  
Tel. 054-264-5011

★ 以下の質問の中で、本学「卒業時」あるいは「卒業後」についてお尋ねしている質問に関して、大学院を卒業されている方は、大学院の「卒業時」あるいは「卒業後」についてお答えください。

A. 本学での学習・生活についてうかがいます。

A1 本学を卒業されたのは、いつですか。あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

※大学院を卒業されている方は、大学院を卒業した時期をお答えください。

1 平成 29 年 9 月	2 平成 30 年 3 月	3 平成 30 年 9 月
4 平成 31 年 3 月	5 令和元年 9 月	6 令和 2 年 3 月

A2 卒業された学部・大学院はどちらですか。学部を卒業されている方は①に、大学院を卒業されている方は②に、あてはまるもの1つだけ○をつけてください。

※大学院を卒業されている方は、大学院の学部・研究科のみをお答えください。

① 学部を卒業されている方	② 大学院を卒業されている方
1 薬学部	1 薬食生命科学総合学府(薬学系)
2 食品栄養科学部	2 薬食生命科学総合学府(食品系)
3 国際関係学部	3 国際関係学研究科
4 経営情報学部	4 経営情報イノベーション研究科
5 看護学部	5 看護学研究科

A3 大学で、講義やゼミ等にはどのように参加していましたか。

1 積極的に参加した	2 やや積極的に参加した
3 どちらとも言えない	4 やや消極的な参加だった
5 消極的な参加だった	

A4 大学主催の就職支援講座等にはどのように参加していましたか。

1 積極的に参加した	2 やや積極的に参加した
3 どちらとも言えない	4 やや消極的な参加だった
5 消極的な参加だった	

A5 卒業後、実社会で役に立っている科目は何ですか。

A6 大学時代にやっておけばよかったと感じている科目は何ですか。

A7 本学で実施しているキャリア・就職支援について、よかった点、こうして欲しかった点を自由にお書きください。

B. 就職活動と、本学卒業後の最初の勤務先についてうかがいます。

B1 本学の就職活動支援は十分でしたか。それぞれあてはまる数字に○をつけてください。

	十分 ←—————→ 不十分				
1 現実の問題・課題に関連した授業	1	2	3	4	5
2 授業以外で教員と接触する機会	1	2	3	4	5
3 就職指導の体制	1	2	3	4	5
4 企業実習(インターンシップ)の機会	1	2	3	4	5
5 学業等への経済的支援の提供	1	2	3	4	5

B2 本学卒業にあたり就職活動(公務員試験、教員採用試験等の受験を含む)をしましたか。

※大学院を卒業された方は、大学院卒業時についてのみお答えください。

1 はい	2 いいえ
------	-------

B2-1 どのような就職活動を行いましたか。

- 1 民間企業等への就職活動
- 2 公務員試験、教員採用試験等の受験
- 3 「民間企業等への就職活動」と「公務員試験、教員採用試験等の受験」を両方とも行った

B2-2 就職活動をせず、どうされましたか。

- 1 就職活動をせずに仕事を見つけた
- 2 卒業前にしていた仕事を続けた
- 3 事業を始めた(自営を含む)
- 4 大学院その他に進学した
- 5 進学も就職もしなかった
- 6 その他( )

B3 本学卒業直後はどのような状況でしたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 正規雇用の従業員	2 起業
3 非正規雇用の従業員	4 家業に従事
5 大学院生・大学生・留学生・専門学校生	6 公務員や教員の採用試験等の準備
7 家事・育児に専従	8 家族の介護に専従
9 無職で仕事を探していた	10 無職で特に何もしていなかった
11 その他( )	

B4 本学卒業後、正規・非正規問わず、就職をしたことはありますか。

1 就職したことがある	2 就職したことがない
-------------	-------------

↓

※C1にお進みください

B5 本学卒業後最初の勤務先の雇用形態はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 正規雇用の従業員	2 起業	3 非正規雇用の従業員
4 家業に従事	5 その他( )	

B6 本学卒業後最初の勤務先の所在地はどこですか。

最初の勤務先の所在地	( )	都・道・府・県
------------	-----	---------

B7 本学卒業後最初の勤務先の就労期間はいつからいつまでですか。

1 西暦( )年( )月 ~ 西暦( )年( )月
2 西暦( )年( )月 ~ 現在も就労

B8 総合的に考えて、本学卒業後最初の勤務先に満足していましたか、あるいは、満足していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 満足している	2 やや満足している	3 どちらとも言えない
4 あまり満足していない	5 満足していない	

C. 現在の職場の状況についてうかがいます。

C1 現在、どのように過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 正規雇用の従業員	2 起業
3 非正規雇用の従業員	4 家業に従事

5 大学院生・大学生・留学生・専門学校生	6 公務員や教員の採用試験等の準備
7 家事・育児に専従	8 家族の介護に専従
9 無職で仕事を探していた	10 無職で特に何もしていなかった
11 その他( )	

↓

※4ページのD1にお進みください

C2 現在の勤務先はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 官公庁、公共機関	2 民間企業	3 病院
4 非営利組織(NPO、NGO)	5 自営(起業・家業等)	6 その他( )

C2-1 業種についてあてはまるものに1つ○をつけてください。

1 建設業	2 製造業	3 電気・ガス・熱供給・水道業
4 情報通信業	5 運輸業、郵便業	6 卸売業、小売業
7 金融業、保険業	8 不動産業、物品賃貸業	9 学術研究、専門・技術サービス業
10 宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業	11 教育、学習支援業	
12 医療、福祉	13 公務、非営利団体(他に分類されるものを除く)	
14 その他 ( )		

C3 現在の勤務先の所在地はどこですか。

現在の勤務先の所在地 ( )都・道・府・県
-----------------------

C4 現在の勤務先の従業員規模はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 29人以下	2 30人～99人	3 100人～299人
4 300人～999人	5 1,000人以上	6 分からない

C5 現在の1週間の平均労働時間はどのくらいですか。時間数をご記入ください。

一週間の平均総労働時間 約 ( )時間/週
-----------------------

C6 現在、どの程度の収入を得ていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 貯蓄ができ、余裕のある生活を送れる	2 貯蓄ができる程度の収入
3 赤字でも黒字でもない程度の収入	4 節約をしなければならない程度の収入
5 誰かを頼ったり借金が必要な収入	

C7 働き方や働く理由は様々ですが、(A)あなたにとってどの程度重要ですか、(B)現在の仕事でどの程度満足できていますか。それぞれあてはまる数字に○をつけてください。

	(A) あなたにとっての重要度					(B) 現在の仕事での満足度				
	高	←	→	低		高	←	→	低	
1 仕事にやりがいがある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2 社会や地域への貢献が実感できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3 自分の夢や希望が叶う	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4 成長できる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5 高い社会的評価を得られる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6 高い収入を得られる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7 雇用・身分の保証がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8 仕事と私生活が両立する	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

D. 大学卒業後の働き方の変化についてうかがいます。

D1 本学卒業後、正規・非正規問わず、転職・退職したことはありますか。

1 転職・退職したことがある	2 転職・退職したことがない(就職したことがないを含む)
----------------	------------------------------

↓

※5ページのD8にお進みください

D2 転職・退職しようとした際、誰に相談しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 親	2 親戚(祖父母・叔父母)	3 兄弟姉妹
4 学生時代の友人	5 大学教員	6 大学キャリア支援室
7 会社の同僚・上司	8 その他( )	9 相談しない

D3 転職・退職した理由はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 やりがいが感じられないから	2 社会や地域への貢献が感じられないから
3 知識や技能を生かしたいから	4 自分の夢や希望が叶うと思えないから
5 成長が感じられないから	6 あまり社会的評価を得られないから
7 収入が少ないから	8 一時的に就いた仕事だから
9 事業不振や先行きが不安だから	10 時間に追われない仕事をしたいから
11 肉体的・精神的に負担が大きいから	12 結婚・出産したいから
13 家族の介護をしたいから	14 実家から通いたいから
15 適性がないと感じたから	16 人間関係がうまくいかないから
17 地元で働きたいから	18 その他( )

D4 本学卒業後二番目の勤務先の雇用形態はどれですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。※転職したことがある方のみ、お答えください。

1 正規雇用の従業員	2 起業	3 非正規雇用の従業員
4 家業に従事	5 その他( )	

D5 本学卒業後二番目の勤務先の就労期間はいつからいつまでですか。

※転職したことがある方のみ、お答えください。

1 西暦( )年( )月 ~ 西暦( )年( )月
2 西暦( )年( )月 ~ 現在も就労

D6 本学卒業後二番目の勤務先に転職して収入は上がりましたか。

※転職したことがある方のみ、お答えください。

1 上がった	2 やや上がった	3 変わらない
4 やや下がった	5 下がった	



D7 総合的に考えて本学卒業後二番目の勤務先に満足していましたか、あるいは満足していますか。  
あてはまるもの1つに○をつけてください。※転職したことのある方のみ、お答えください。

1 満足している	2 やや満足している	3 どちらとも言えない
4 あまり満足していない	5 満足していない	

D8 本学卒業後からこれまで、いくつの企業等（公務員、自営を含む）で働きましたか。  
※現在の勤務先、非正規で雇用された企業も数に含みます。

勤務した企業等の数	( )社	※就職したことがない方は「0」社
-----------	------	------------------

E. 卒業後の本学とのつながりについてうかがいます。

E1 卒業後に本学を訪問したことがありますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

↓

※E2にお進みください

E1-1 どのような目的で訪問しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 教員に会うため	2 研究室・ゼミ
3 卒業教育への参加	4 事務への用事のため
5 就職相談をするため	6 部活動・サークル
7 剣祭を訪問	8 本学が会場の催しに参加
9 特に目的はなかった	10 その他( )

E2 卒業後に本学の教員と連絡をとったことがありますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

↓

※E3にお進みください

E2-1 どのように連絡をとられましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 大学訪問	2 電話	3 電子メール
4 葉書・手紙	5 その他( )	

E3 本学の情報をどこから入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 本学 HP	2 twitter	3 Facebook ページ
4 その他( )		

F. あなたご自身についてうかがいます。

F1 性別は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 女性	2 男性	3 その他( )
------	------	----------

F2 現在お住まいの都道府県をご記入ください。

現在お住まいの都道府県	( )都・道・府・県
-------------	------------

F3 現在の通勤・通学時間をご記入ください。

現在の通勤・通学時間	およそ( )時間 ( )分 程度
------------	------------------

F4 大学卒業直前および現在、実家にお住まいでしたか、あるいはお住まいですか。それぞれの時期について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

大学卒業直前	現在
1 はい	1 はい
2 いいえ	2 いいえ

F5 職業や生活を通して重要なことはどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 仕事にやりがいを感じられること	2 仕事で知識や技能を生かせること
3 自分の成長を感じられること	4 高い収入が得られること
5 高い社会的評価を得られること	6 余暇の時間が得られること
7 地元で働けること	8 適性のある仕事に就けること
9 職場の人間関係がうまくいっていること	10 失業の心配がないこと
11 仕事で健康が損なわれないこと	12 家族関係が良好であること
13 介護など、家族の苦痛によりそうこと	14 友人と十分に交流できること
15 社会や地域に貢献できること	16 自分の夢や希望が叶うこと
17 その他( )	

G. 本学在生に向けて、卒業生として伝えたいことについてうかがいます。

G1 OB・OG 懇談会などに参加し、本学の後輩のために協力することはできますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

G2 本学を卒業して、①働くということについて気づいたこと、②そのほかにも、後輩に伝えたいと思っていることをそれぞれ、自由にお書きください。

①
②

H. 新型コロナの影響についてうかがいます。

H1 新型コロナの影響で収入に変化がありましたか。

1 上がった	2 やや上がった	3 変わらない
4 やや下がった	5 下がった	

H2 新型コロナの影響で勤務先の人員は増えましたか、減りましたか。

1 増えた	2 やや増えた	3 変わらない
4 やや減った	5 減った	

H3 新型コロナの影響で転職・退職をしましたか。

1 した	2 しようと考えている	3 しない
------	-------------	-------

H4 H3で「1 した」、又は「2 しようと考えている」と回答した方にお尋ねします。

具体的理由はなんですか、自由にお書きください。

--

H5 新型コロナの影響であなたの職場の環境やあなたの処遇に影響はありましたか、自由にお書きください。

--

質問は以上です。お忙しい中、多くの質問にお答えいただき、ありがとうございました。

**令和3年1月19日（火）までに、  
同封の封筒にてご返送ください。**



令和2年度  
静岡県立大学キャリア・就職支援等に  
関する卒業生調査

発行 2021年3月

編集 静岡県立大学 キャリア支援センター

〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田52の1

TEL 054-264-5011

FAX 054-264-5299